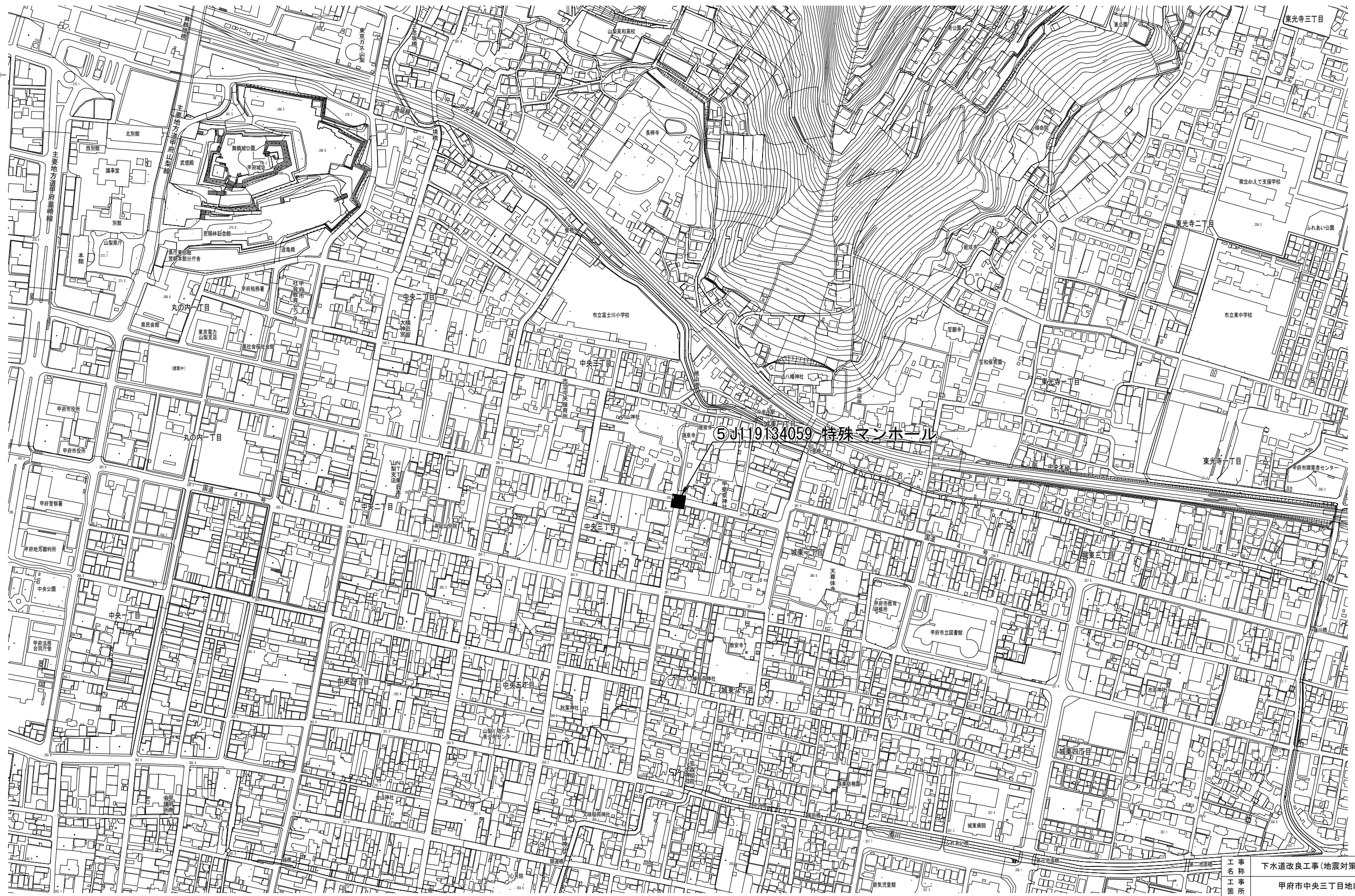
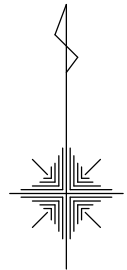
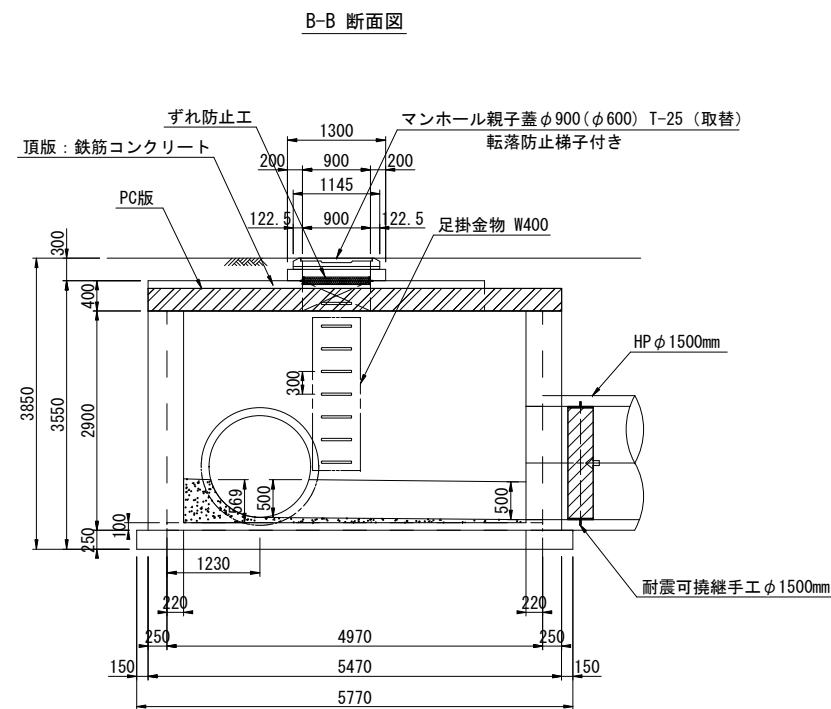
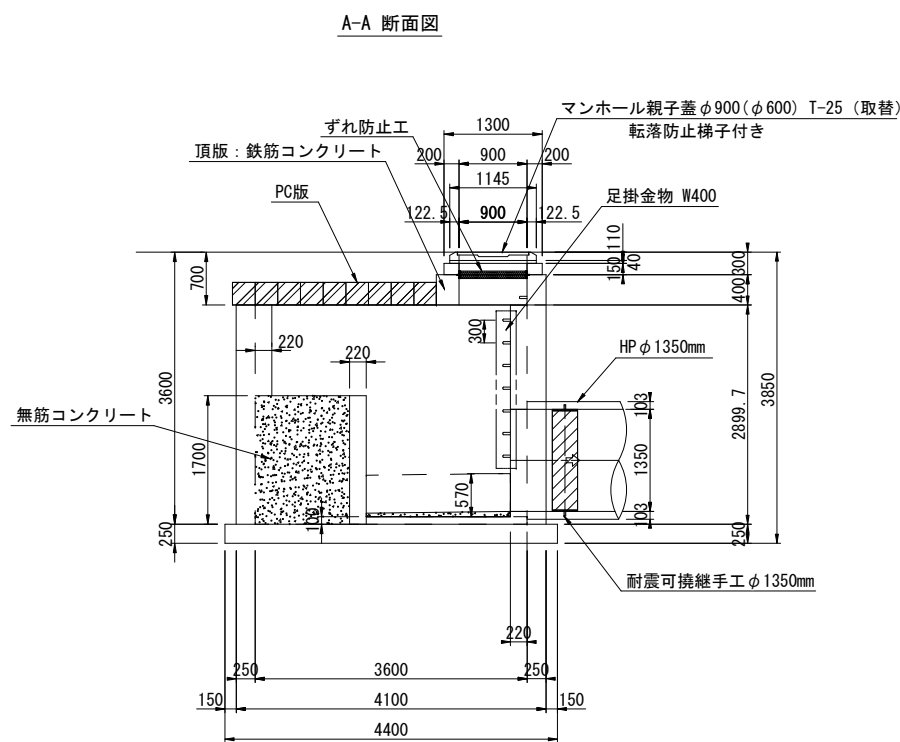
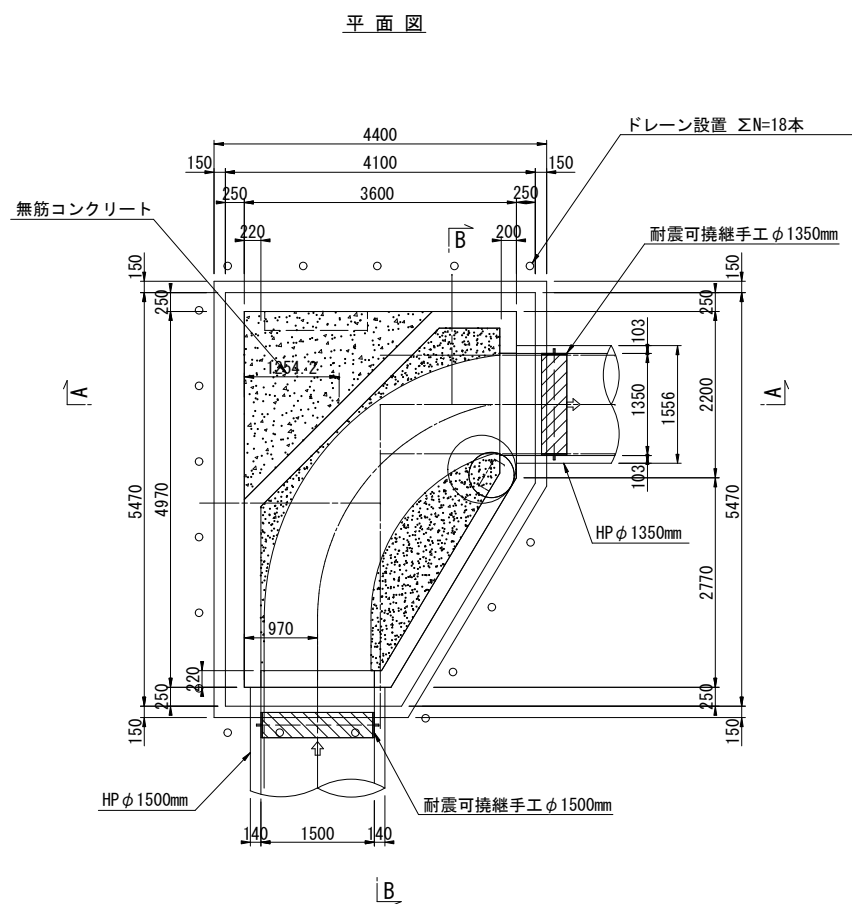
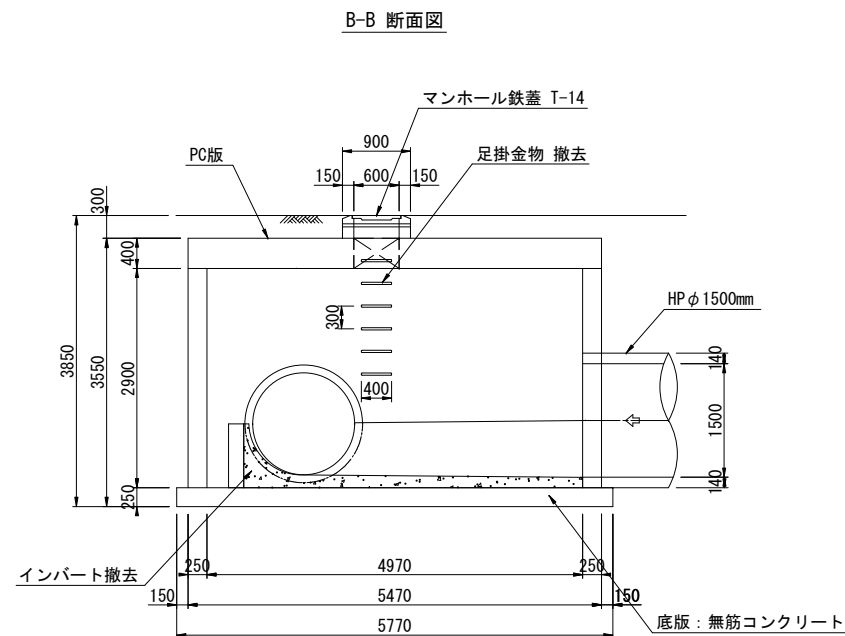
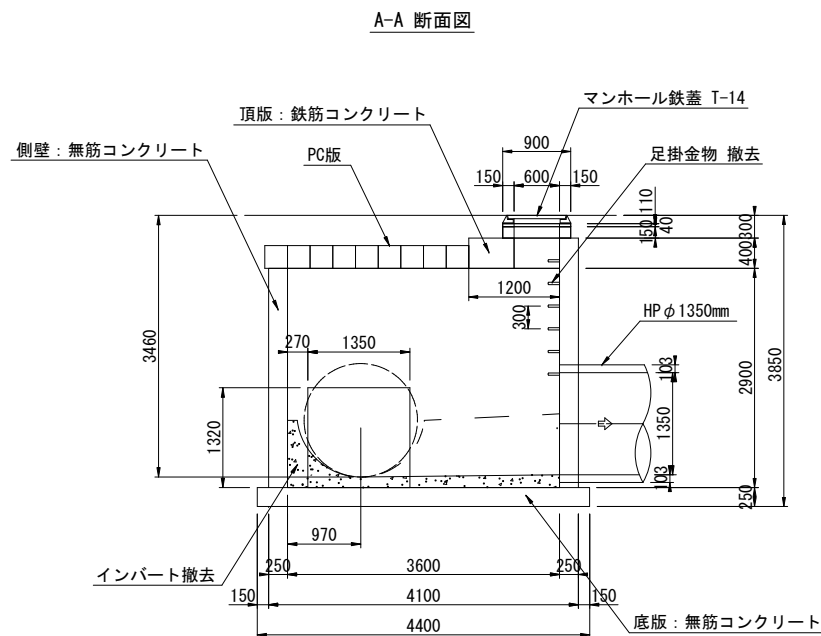
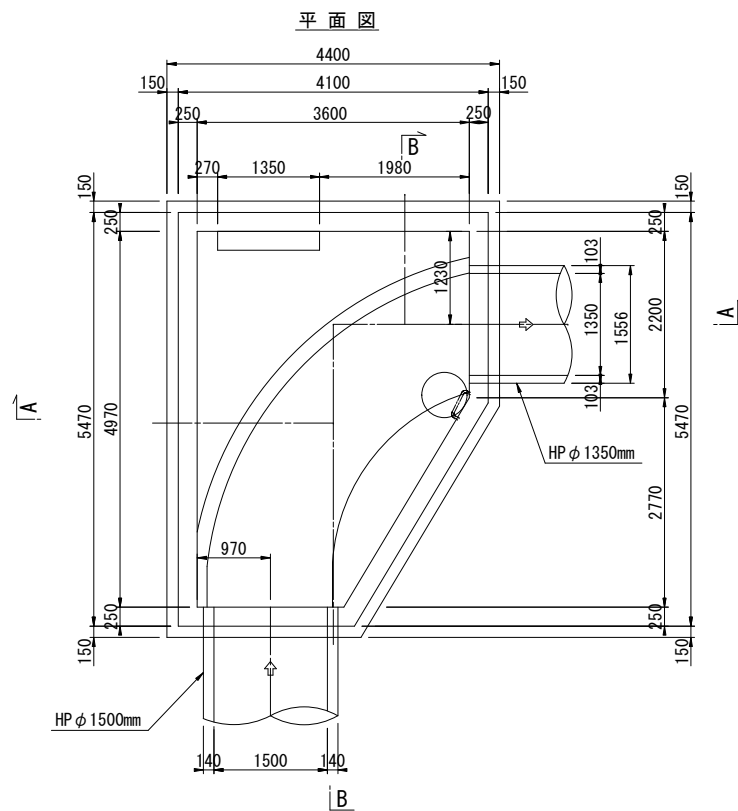


位置図 S=1:2,500



工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	⑤J119134059 特殊マンホール位置図		
図 面 枚 数	1 / 32	縮 尺	1:2,500
甲 府 市 上 下 水 道 局			

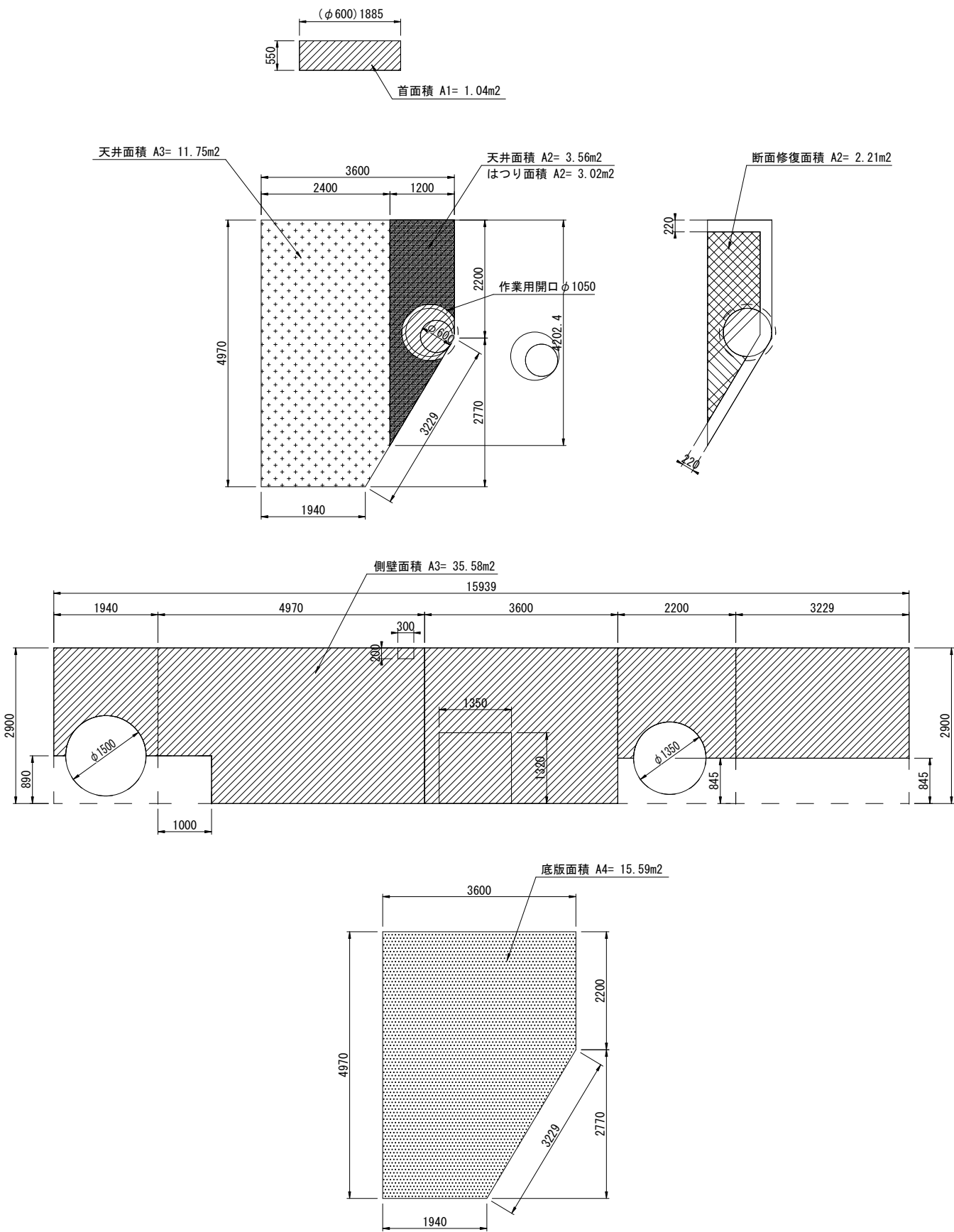
J119134059 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図 S=1:50



工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 箇 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134059 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図		
図 面 枚 数	2 / 32	縮 尺	S=1 : 50
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134059 特殊マンホールはつり・断面修復工図 S=1:50

人孔内壁展開図



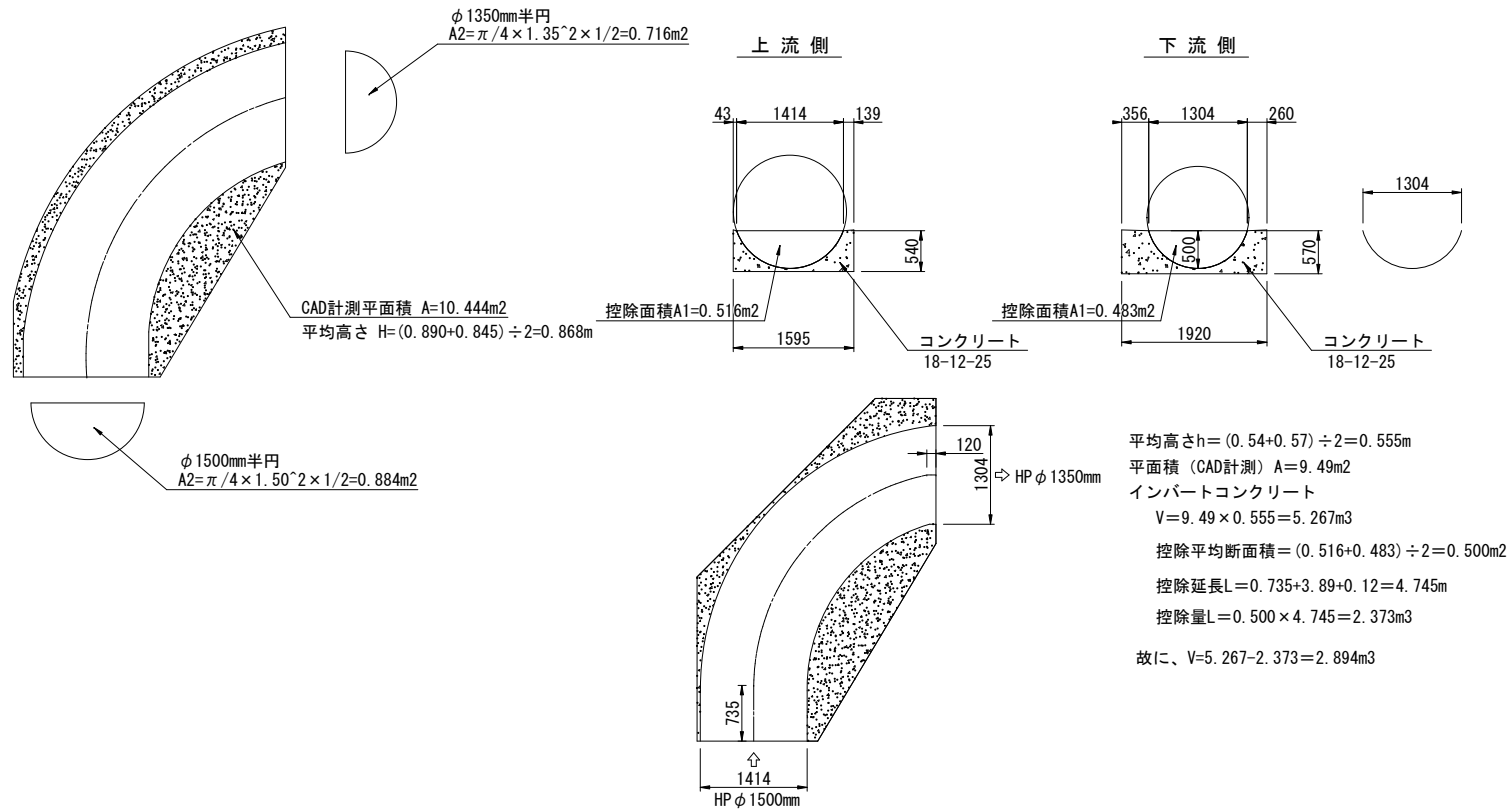
はつり・洗浄工・断面修復等 数量表

項 目	面積 (m2)	洗浄工 (m2)	はつり厚 (mm)	はつり面積 (m2)	人力取壊し工 (m3)	断面修復工 (m2)	備考
頂版首	A1	1.04	1.04	-	-	-	
天 井	A2	3.56	3.56	10	3.02	-	2.21
天 井	A3	11.75	11.75	-	-	-	
躯体側壁	A3	35.58	35.58	10	35.58	-	
底 版	A4	15.59	15.59	-	-	-	
インバート工	取壊しV=10.444×0.868-(0.884+0.716)/2×4.92=5.129m3				5.13		復旧2.89m3
計		67.52		38.60	5.13	2.21	

注) 1. はつり工は、人力による切削工とする。  
2. 頂版に鉄筋が露出していた場合は、裏側までハツリ出して防錆材の塗布を行う。

インバート取り壊し工

インバート復旧工



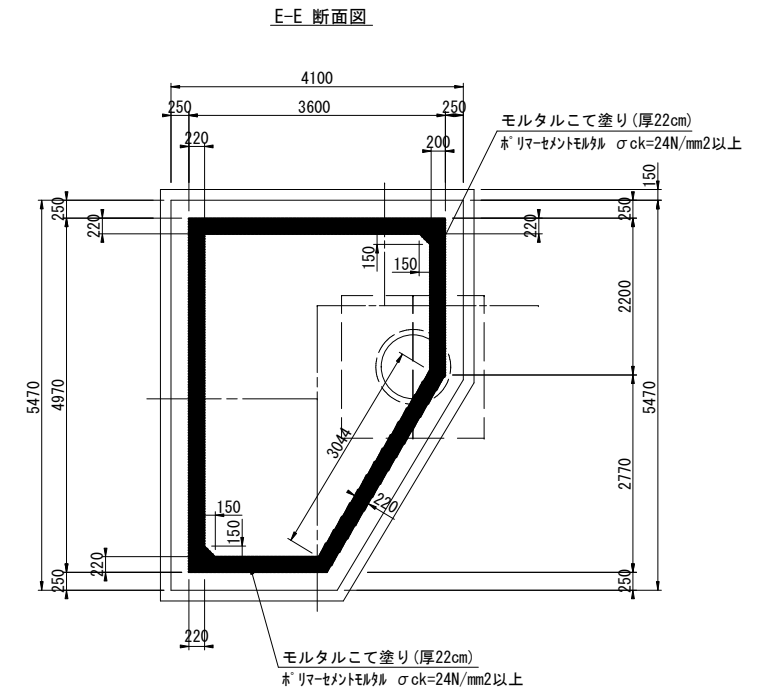
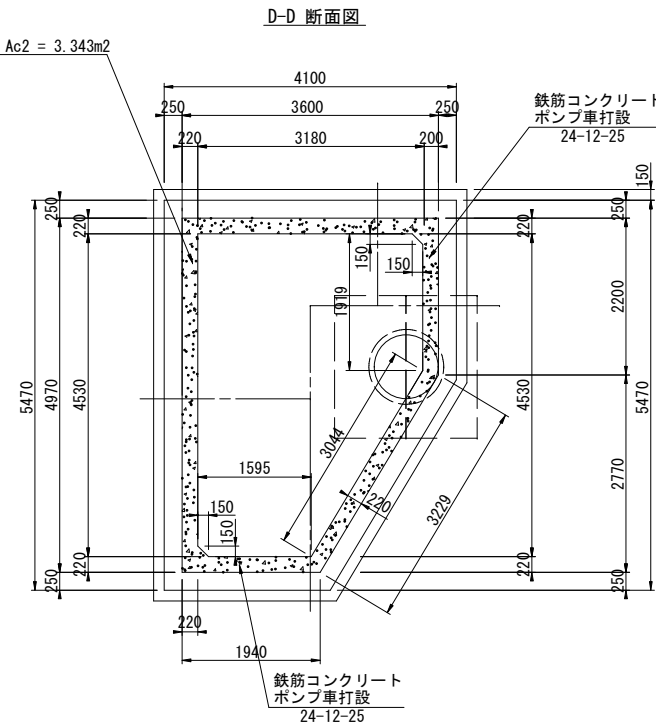
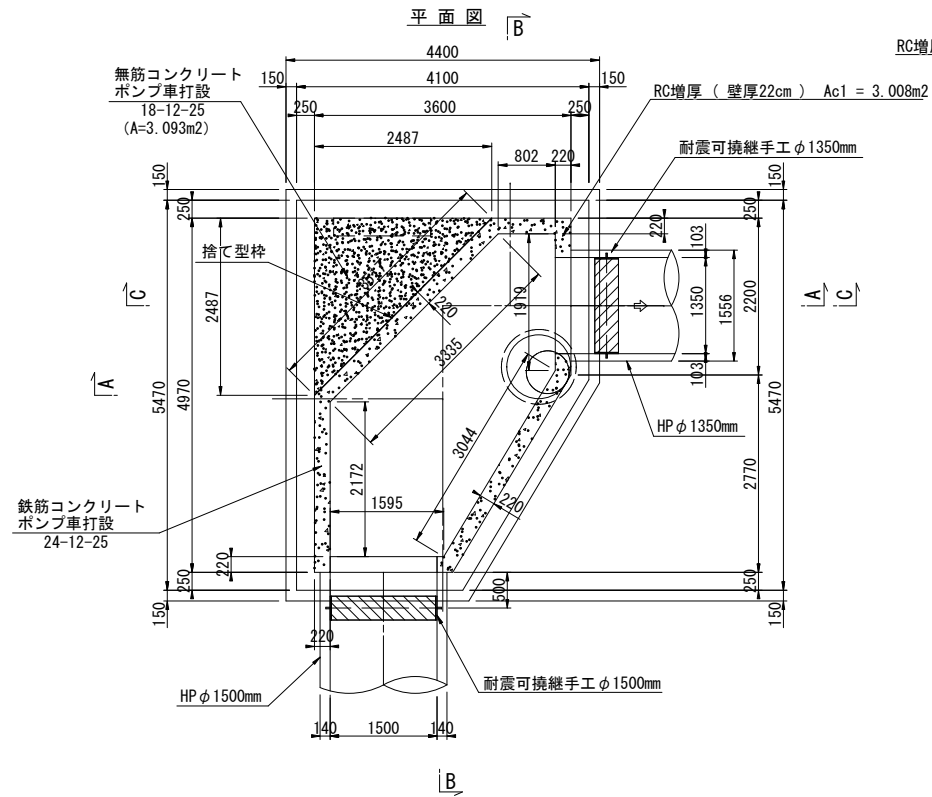
改築更新材料及び補修工

項 目	仕 様	単位	数量	備 考
マンホール鉄蓋交換	親子蓋φ900(φ600) T-25	組	1	転落防止梯子付き
足掛金物撤去	W-400	本	5	
足掛金物設置	W-400	本	7	

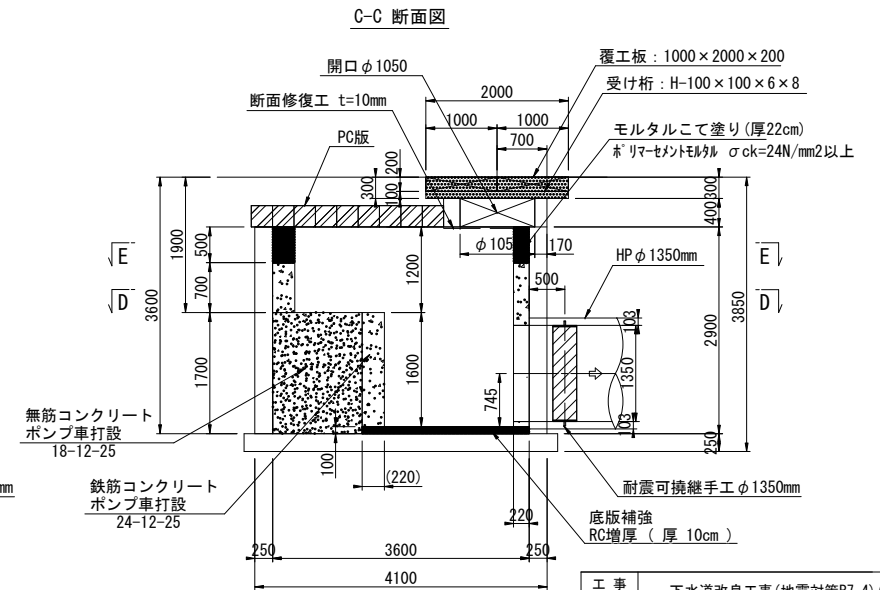
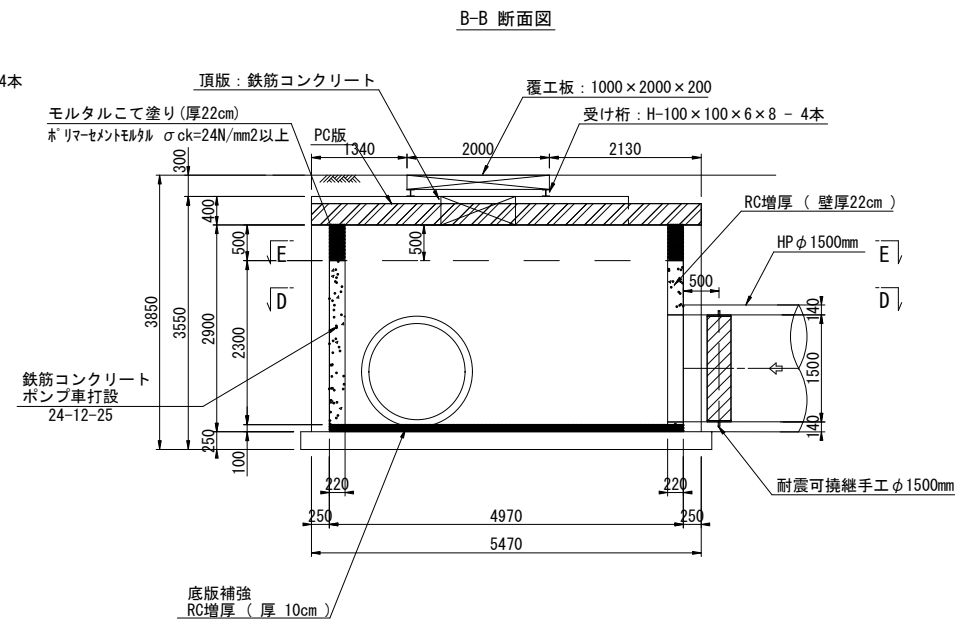
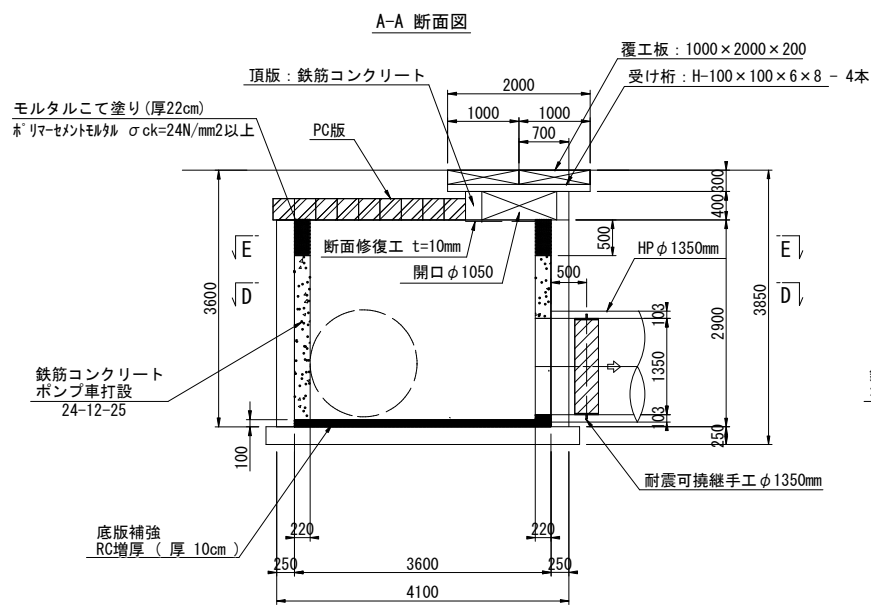
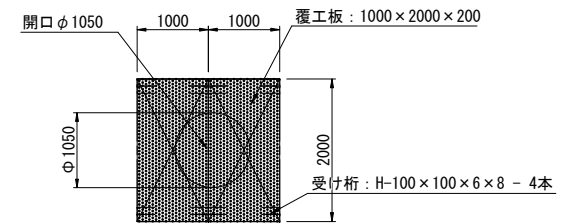
平均高さh=(0.54+0.57)÷2=0.555m  
平面積 (CAD計測) A=9.49m2  
インバートコンクリート  
V=9.49×0.555=5.267m3  
控除平均断面積=(0.516+0.483)÷2=0.500m2  
控除延長L=0.735+3.89+0.12=4.745m  
控除量L=0.500×4.745=2.373m3  
故に、V=5.267-2.373=2.894m3

工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)
工 事 箇 所	甲府市中央三丁目地内ほか
図 面 名 称	J119134059 特殊マンホールはつり・断面修復工図
図 面 枚 数	3 / 32
縮 尺	1:50
甲 府 市 上 下 水 道 局	

J119134059 特殊マンホール耐震補強構造図 S=1:50



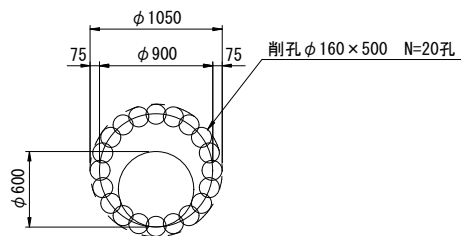
開口増径部 平面図



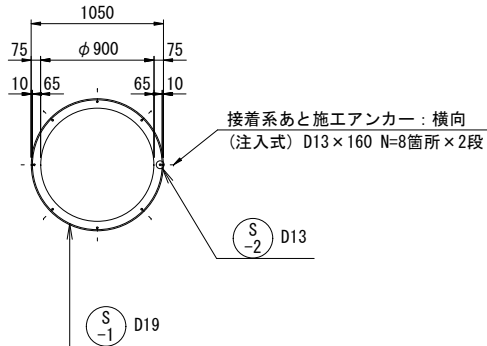
工事 名称	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工事 箇所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図面 名称	J119134059 特殊マンホール耐震補強構造図		
図面 枚数	4 / 32	縮尺	1:50
甲府市上下水道局			

J119134059 特殊マンホール開口増径工詳細図 縮尺 1:30

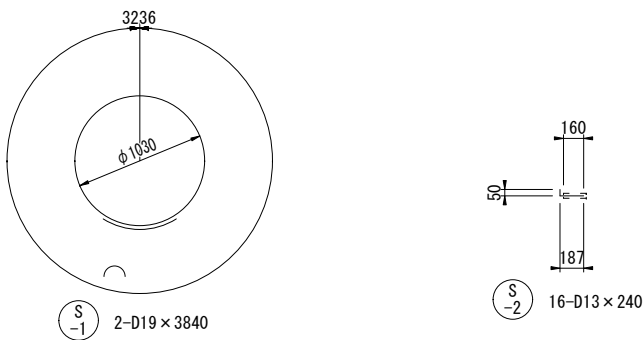
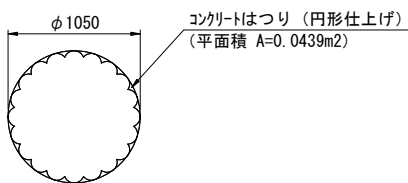
床版開口削孔工図



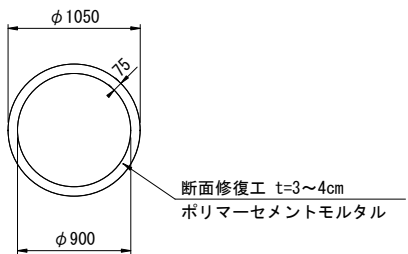
開口部用心鉄筋



はつり工図



床版開口修復工図



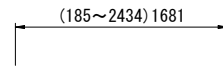
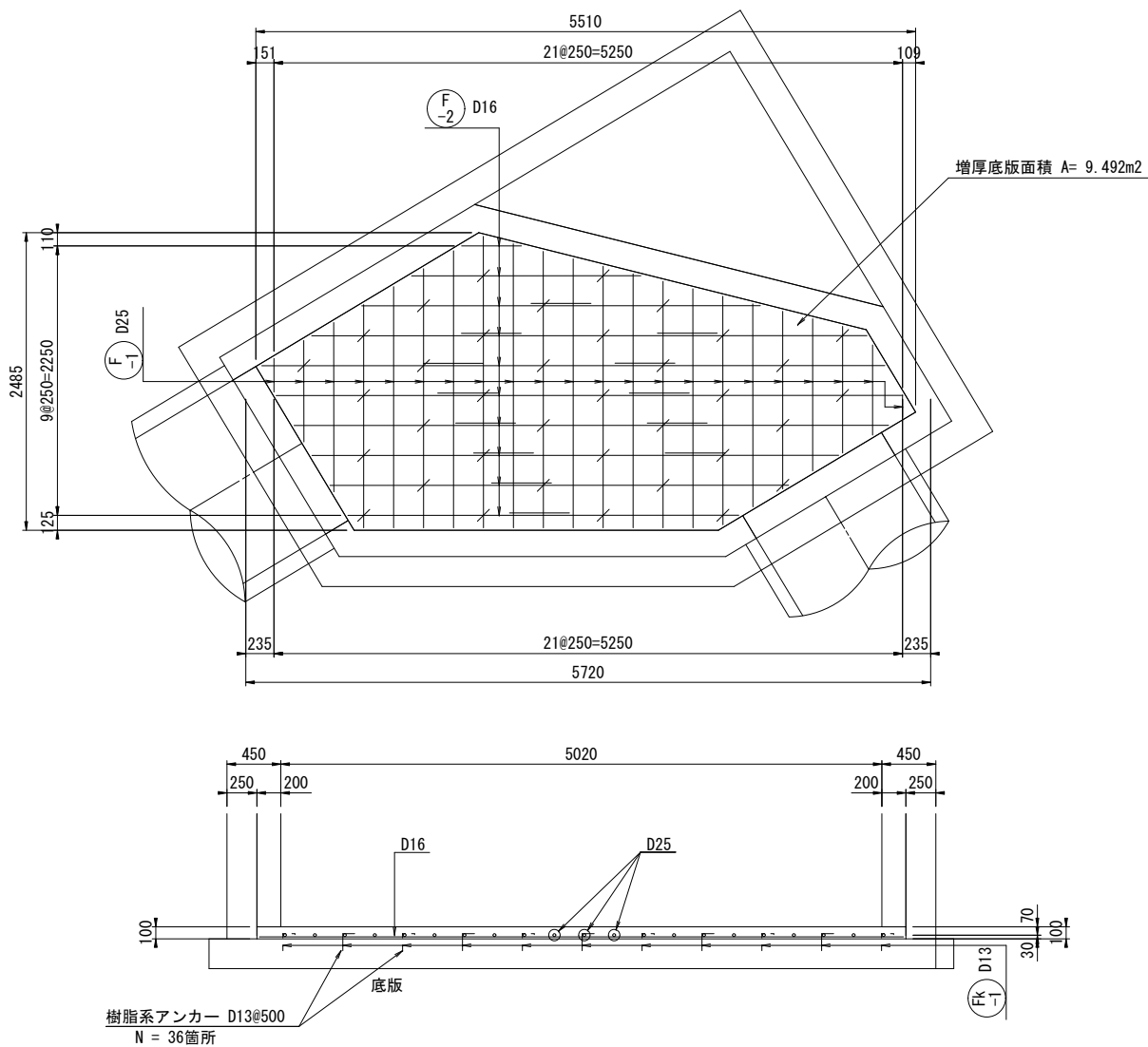
鉄筋質量表 (片側)

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	摘要
S -1	D19	3840	2	2.25	8.64	17.3	
S -2	D13	240	16	0.995	0.24	3.8	
SD345 D19							17.3 kg
SD345 D13							3.8 kg

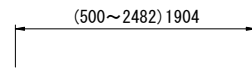
工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名 称	J119134059 特殊マンホール開口増径工詳細図		
図 面 枚 数	5 / 32	縮 尺	1:30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

底 版

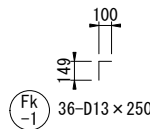
J119134059 特殊マンホール配筋図（１） S=1:30



F-1 22-D25 × 1690



F-2 23-D16 × 1910

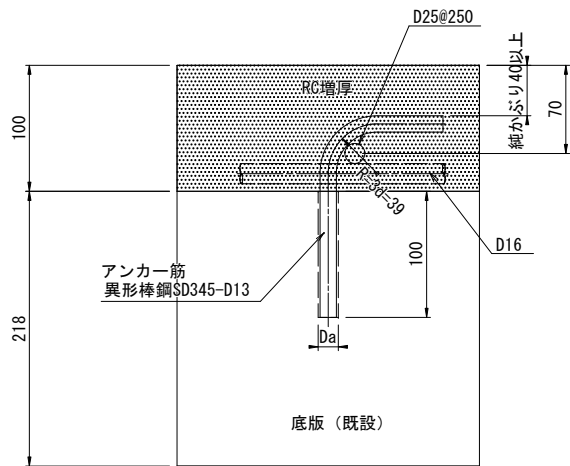


Fk-1 36-D13 × 250

底版 鉄筋数量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	摘要
F-1	D25	1690	22	3.98	6.73	148.1	
F-2	D16	1910	23	1.56	2.98	68.5	
Fk-1	D13	250	36	0.995	0.25	9.0	
				SD345	D25	148.1 kg	
				SD345	D16	68.5 kg	
				SD345	D13	9.0 kg	

あと施工アンカー標準図



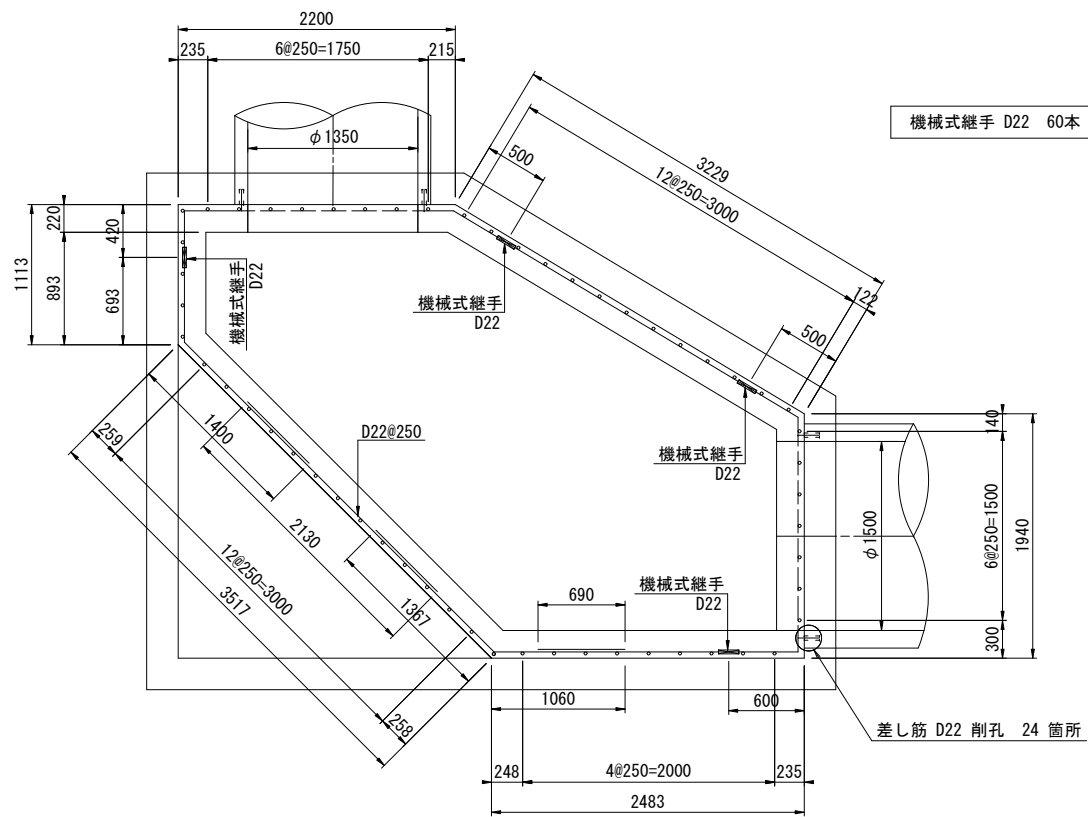
特記

- あと施工アンカーは、接着系アンカーとする。
- 接着剤は、樹脂カプセル型の有機系のものとし基本接着強度10N/mm2とする。
- ハツリ又は洗浄後の躯体には、目荒しを施す事とする。
- アンカーの埋込穴の直径は、各メーカーのアンカー規格に合った適正なドリルビット径とし、穴の周辺コンクリートに損傷を与えない物でなければならない。
- アンカー孔内の切粉やゴミを、占有ブラシ・ブロアーを使用して念入りに清掃すること。
- 穴あけに失敗した場合は、2.5d以上離して再度穴あけを行う。失敗アンカー孔はモルタルにて補修すること。

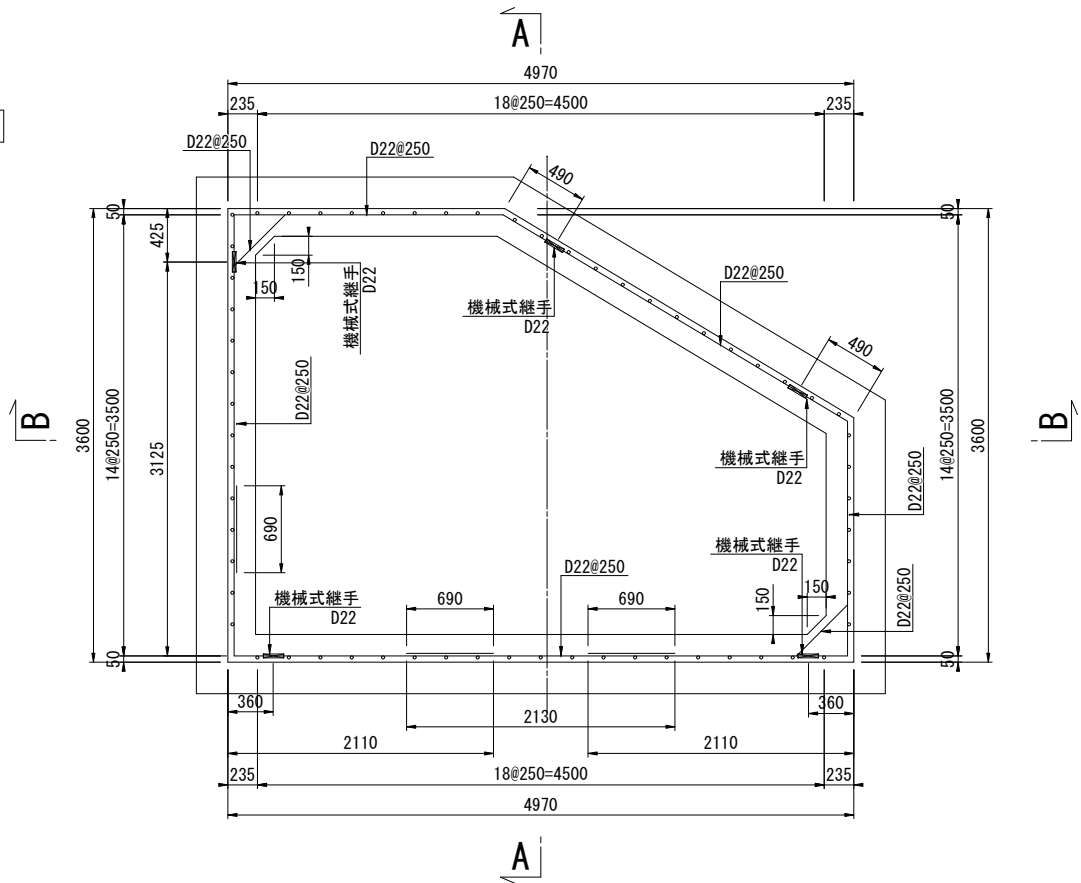
工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)			
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか			
図 名	J119134059 特殊マンホール配筋図( 1 )			
図 枚 数	6 / 32	縮 尺	S=1 : 30	
甲 府 市 上 下 水 道 局				

J119134059 特殊マンホール配筋図（2） S=1:30

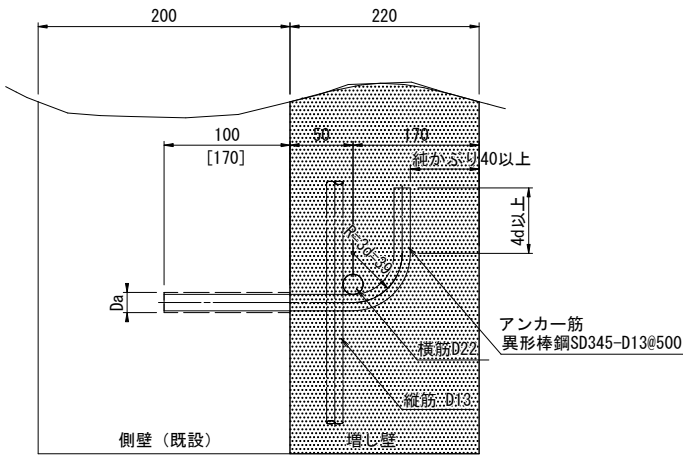
D-D 断面図



C-C 断面図

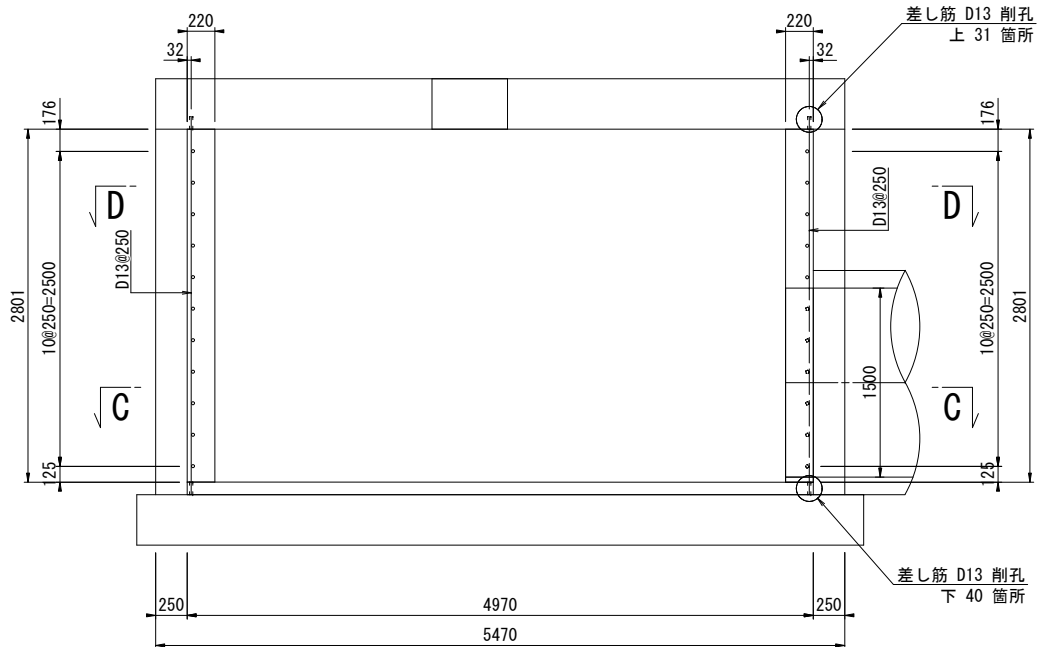


あと施工アンカー標準図

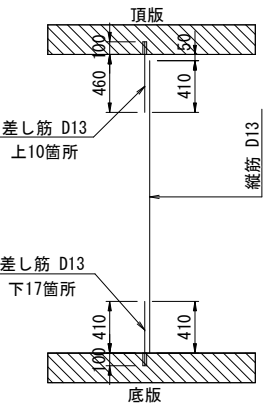
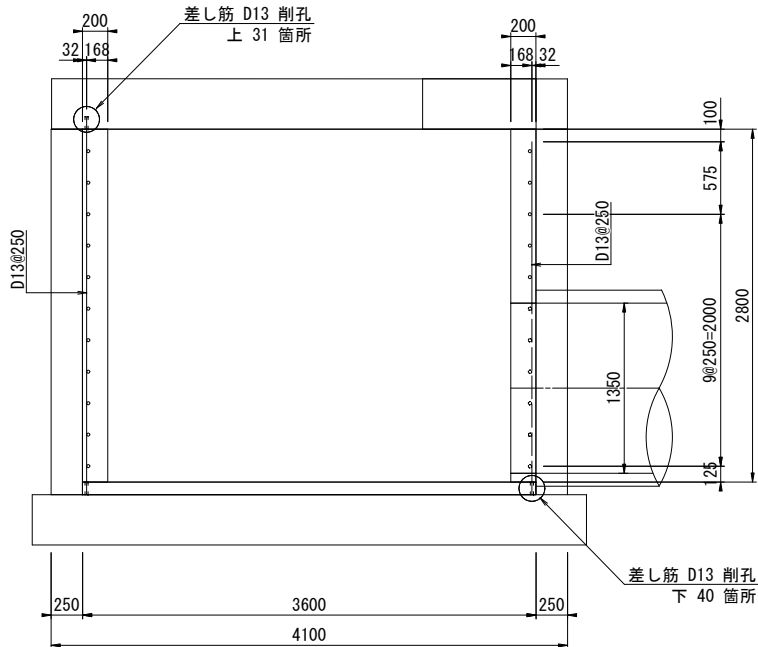


特記：頂版及び底版に施工するアンカーを参照  
( ) 内は D16mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。  
[ ] 内は D22mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。

A-A 断面図



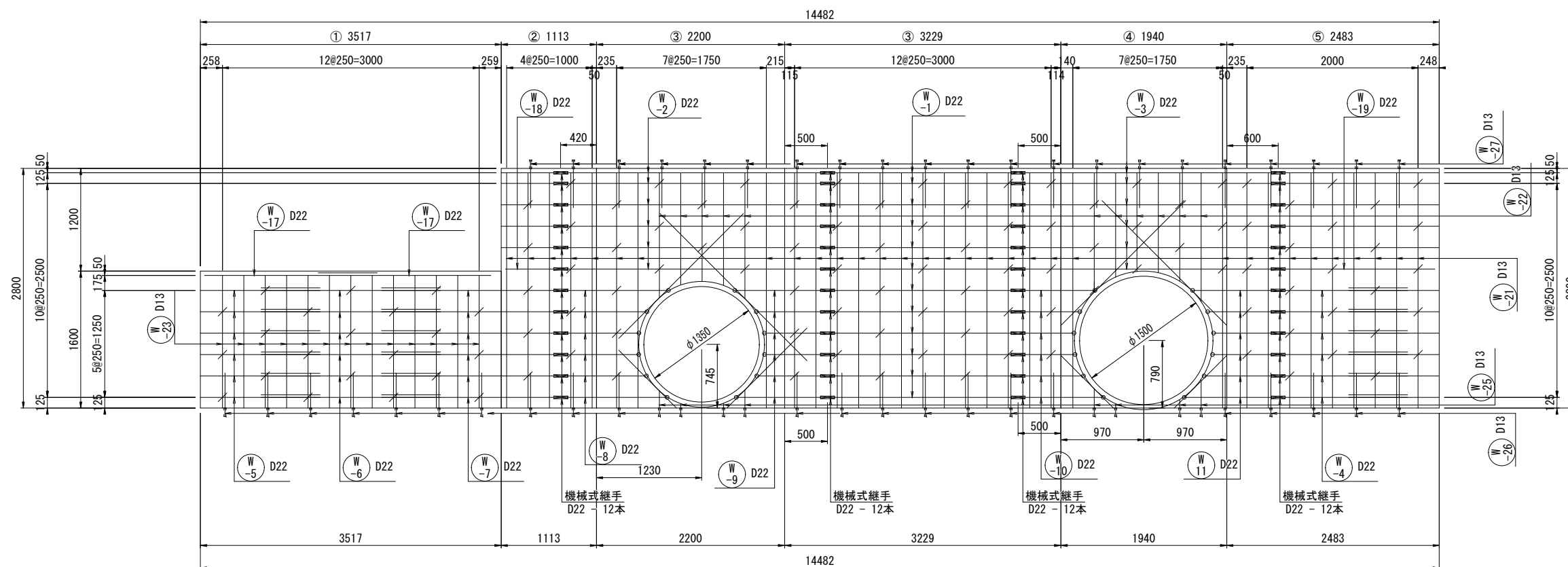
B-B 断面図



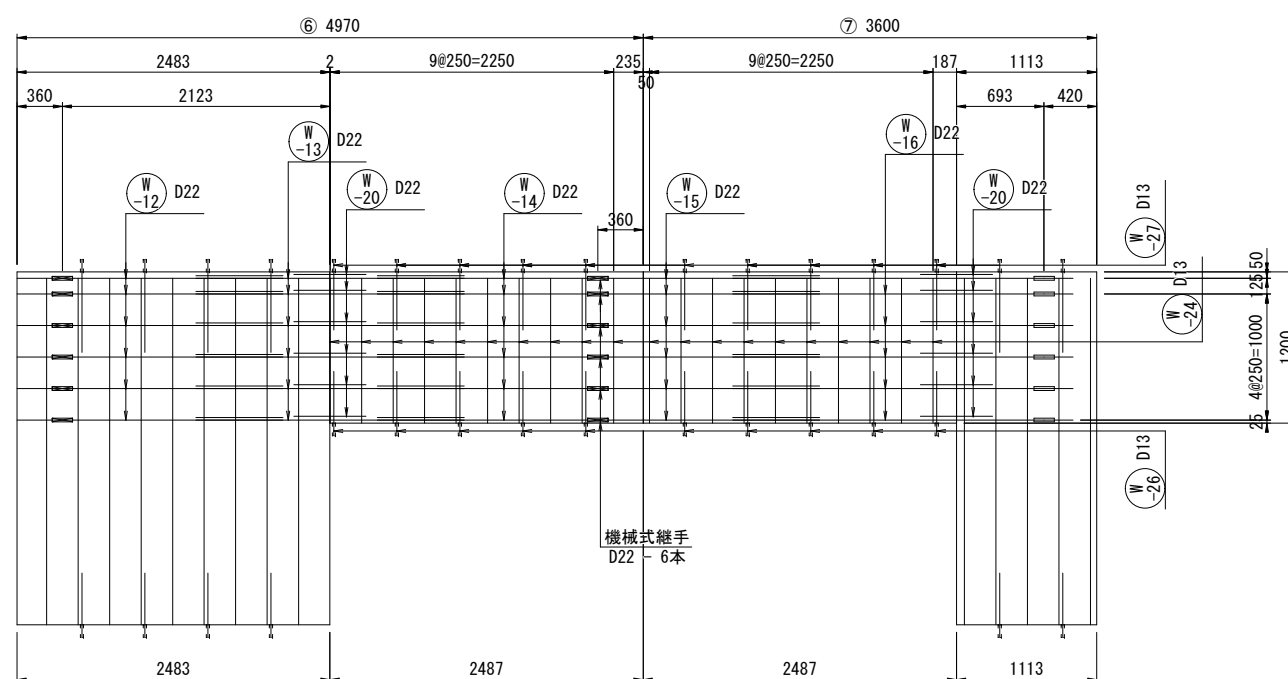
工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134059 特殊マンホール配筋図（2）		
図 面 枚 数	7 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134059 特殊マンホール配筋図 (3) S=1:30

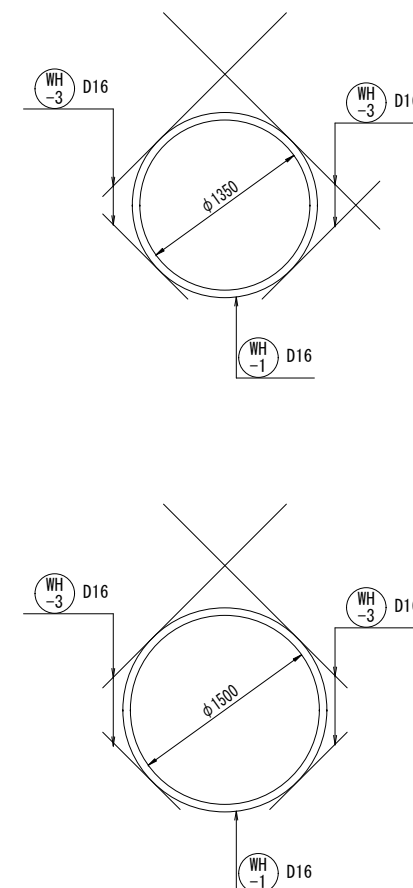
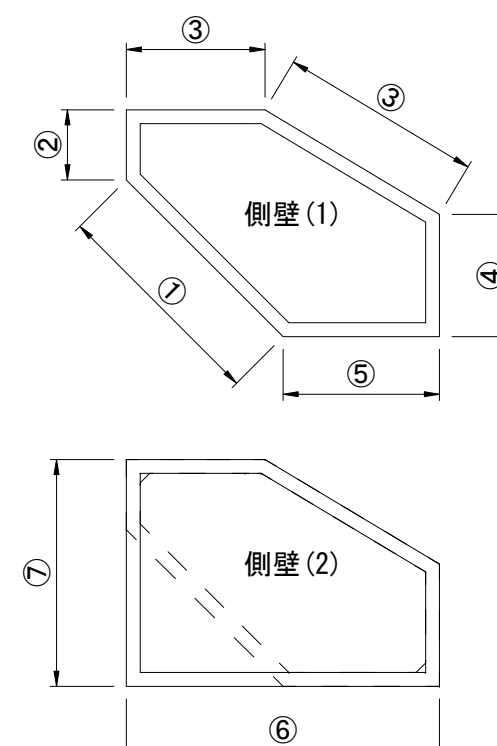
側壁(1) 展開図



側壁(2) 展開図



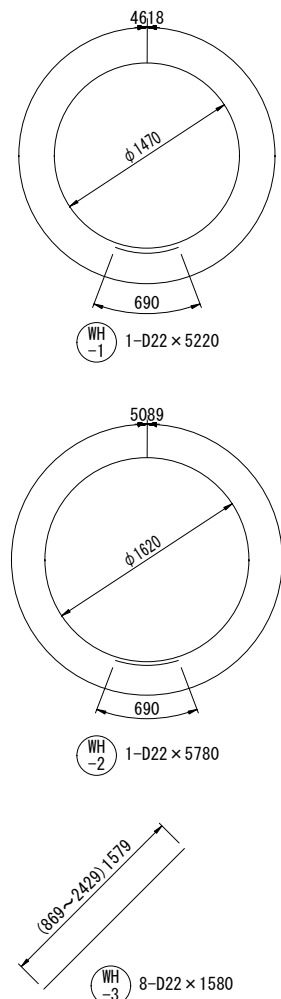
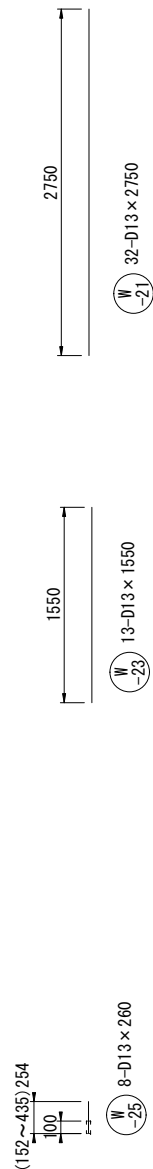
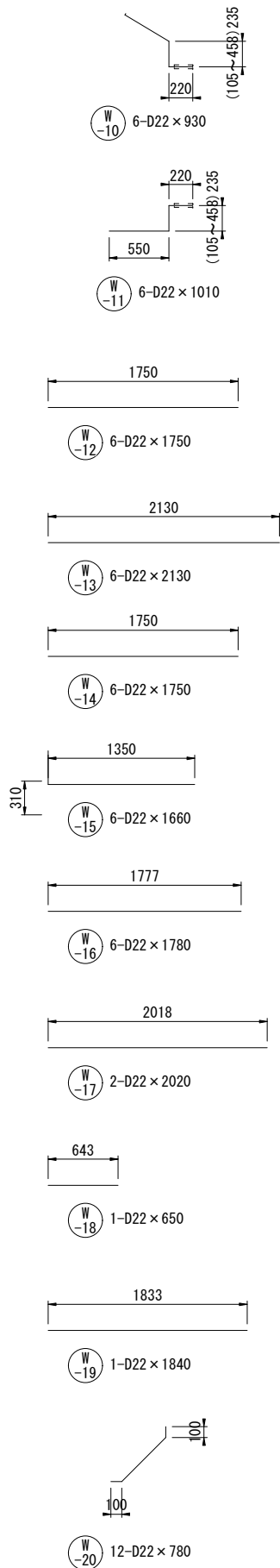
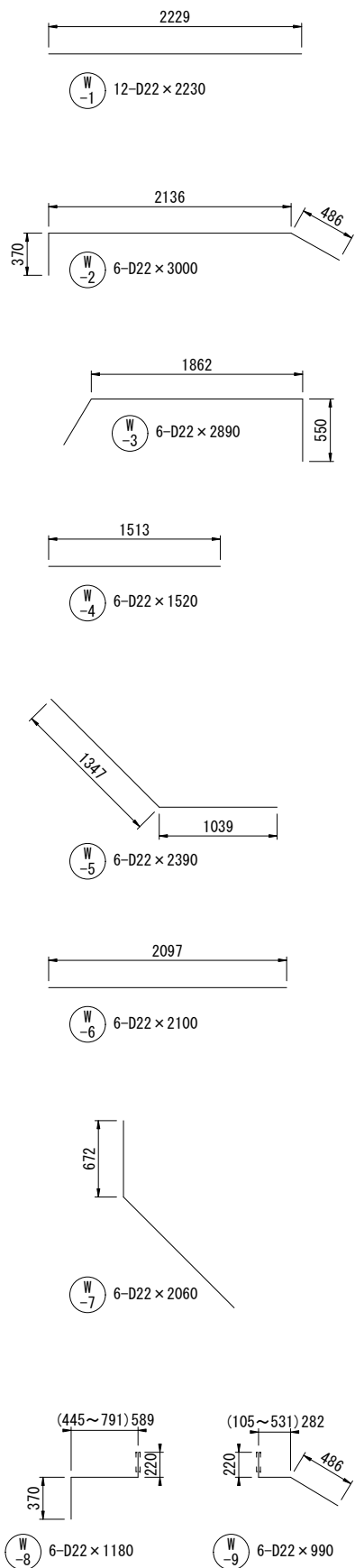
### 平面略図



工 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名 称	J119134059 特殊マンホール配筋図(3)		
図 面 数	8 / 32	縮尺	S=1:30
甲 府 市 上 下 水 道 局			



J119134059 特殊マンホール配筋図（４） S=1:30



側壁 鉄筋質量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	D13 (kg)	D22 (kg)	摘要
W-1	D22	2230	12	3.04	6.78	81.4		81.4	
W-2	D22	3000	6	3.04	9.12	54.7		54.7	
W-3	D22	2890	6	3.04	8.79	52.7		52.7	
W-4	D22	1520	6	3.04	4.62	27.7		27.7	
W-5	D22	2390	6	3.04	7.27	43.6		43.6	
W-6	D22	2100	6	3.04	6.38	38.3		38.3	
W-7	D22	2060	6	3.04	6.26	37.6		37.6	
W-8	D22	1180	6	3.04	3.59	21.5		21.5	
W-9	D22	990	6	3.04	3.01	18.1		18.1	
W-10	D22	930	6	3.04	2.83	17.0		17.0	
W-11	D22	1010	6	3.04	3.07	18.4		18.4	
W-12	D22	1750	6	3.04	5.32	31.9		31.9	
W-13	D22	2130	6	3.04	6.48	38.9		38.9	
W-14	D22	1000	6	3.04	5.32	31.9		31.9	
W-15	D22	1660	6	3.04	5.05	30.3		30.3	
W-16	D22	1780	6	3.04	5.41	32.5		32.5	
W-17	D22	2020	2	3.04	6.14	12.3		12.3	
W-18	D22	650	1	3.04	1.98	2.0		2.0	
W-19	D22	1840	1	3.04	5.59	5.6		5.6	
W-20	D22	780	12	3.04	2.37	28.4		28.4	
W-21	D13	2750	32	0.995	2.74	87.7	87.7		
W-22	D13	1330	11	0.995	1.32	14.5	14.5		
W-23	D13	1550	13	0.995	1.54	20.0	20.0		
W-24	D13	1150	20	0.995	1.14	22.8	22.8		
W-25	D13	260	8	0.995	0.26	2.1	2.1		
W-26	D13	510	32	0.995	0.51	16.3	16.3		
W-27	D13	560	31	0.995	0.56	17.4	17.4		
Wk-1	D13	290	114	0.995	0.29	33.1	33.1		
WH-1	D22	5220	1	3.04	15.87	15.9		15.9	
WH-2	D22	5780	1	3.04	17.57	17.6		17.6	
WH-3	D22	1580	8	3.04	4.80	38.4		38.4	
計						910.6	213.9	696.7	
SD345 D22						696.7 kg			
SD345 D13						213.9 kg			
機械式継手 D22						54 本			

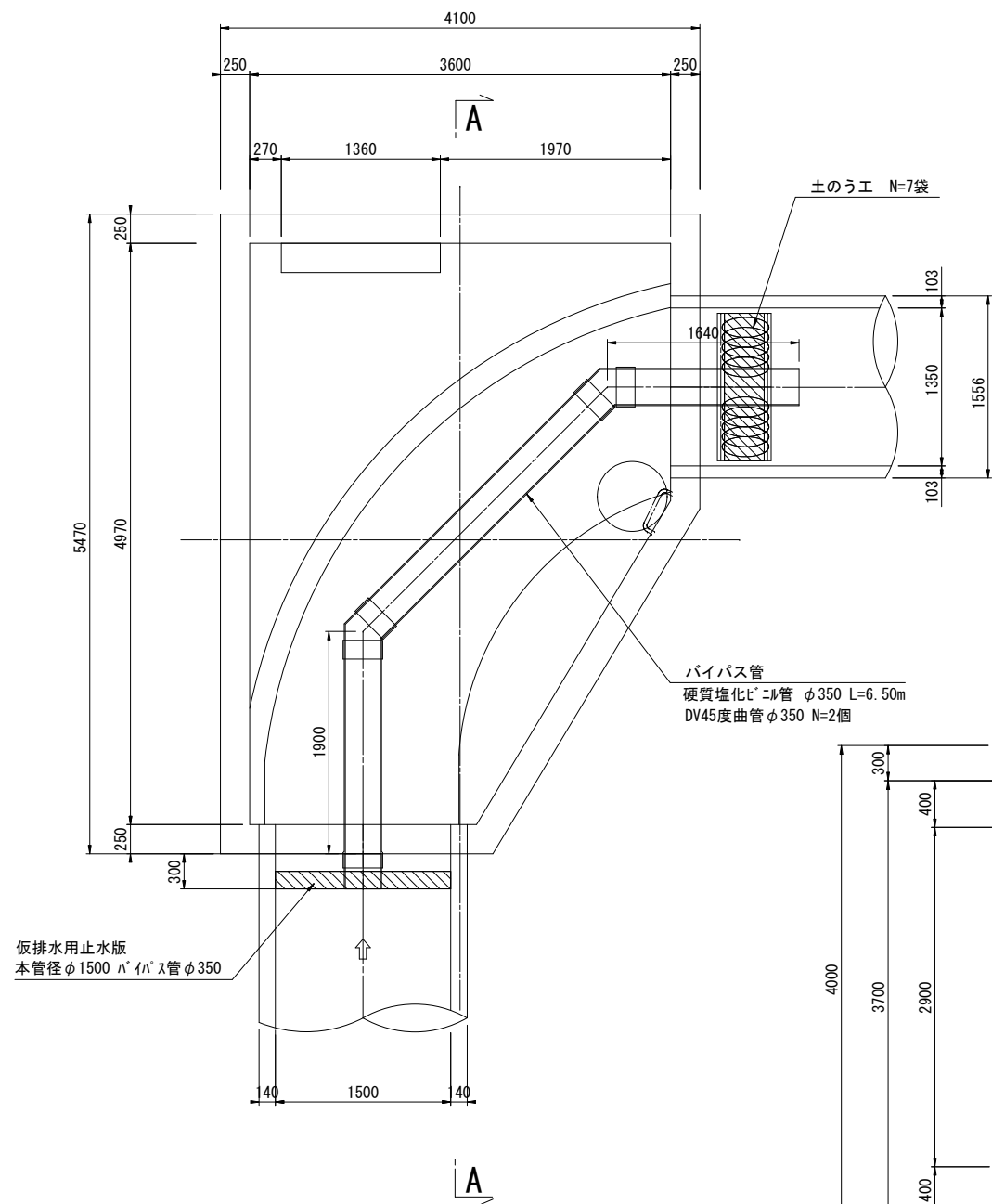
削孔数量

削 孔	数 量	備 考
D13用（上向）	31 箇所	W27の本数に同じ
D13用（横向）	114 箇所	Wk1の本数に同じ
D13用（下向）	40 箇所	W24+W25の本数に同じ
D22用（横向）	24 箇所	W8+W9+W10+W11の本数に同じ

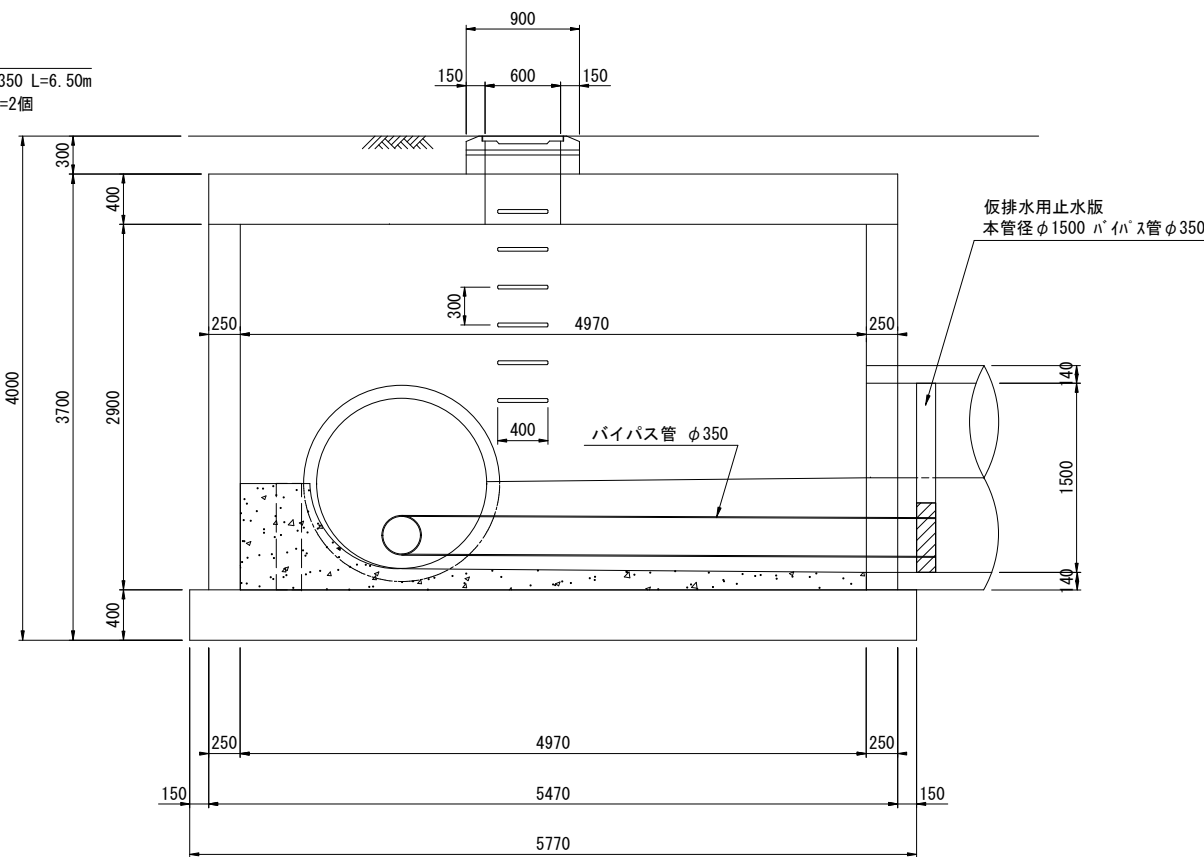
工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4) (余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134059 特殊マンホール配筋図（４）		
図 面 枚 数	9 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134059 特殊マンホール仮排水仮設図 S=1:30

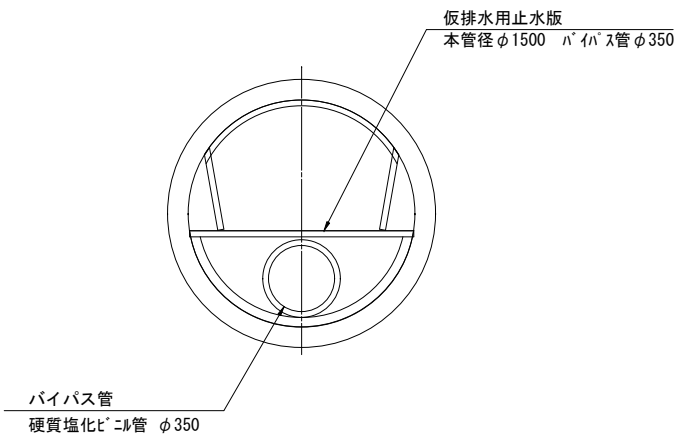
平面図



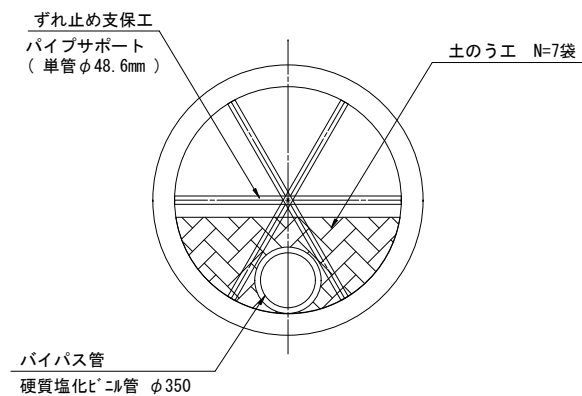
A-A 断面図



B-B 断面図



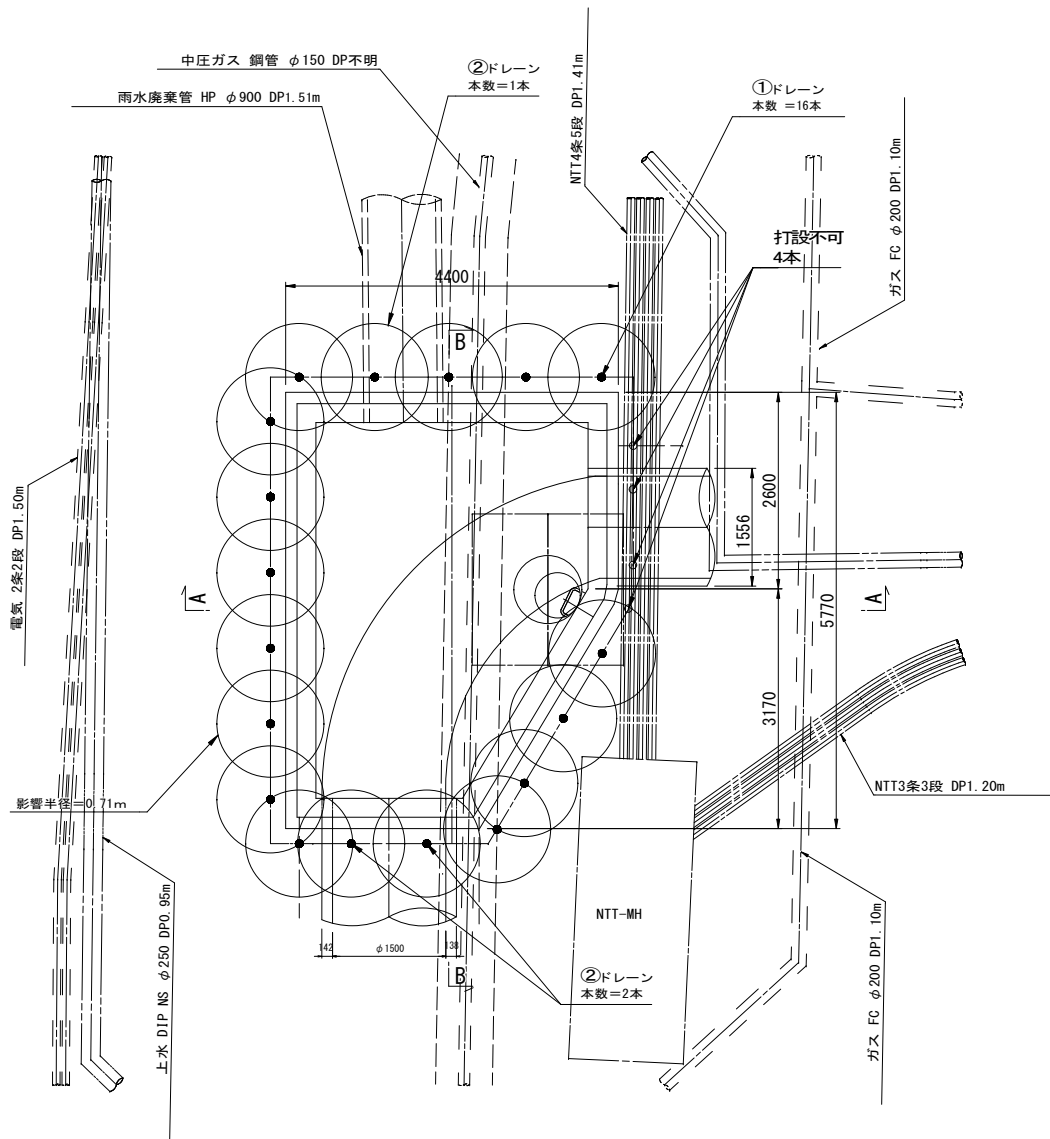
C-C 断面図



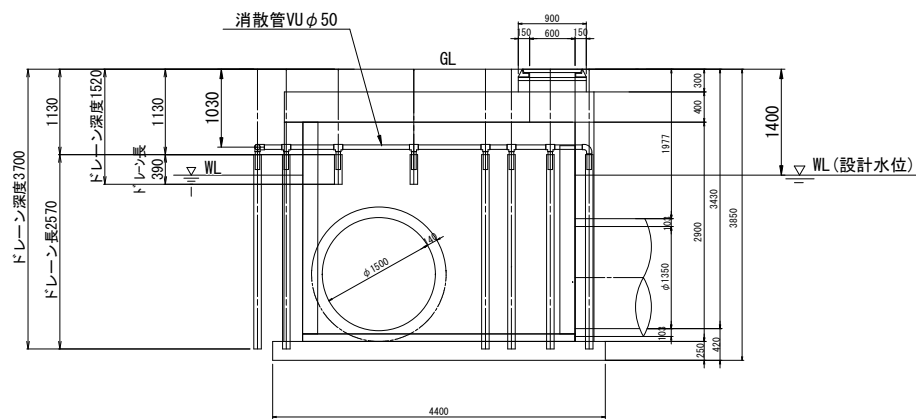
工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134059 特殊マンホール仮排水仮設図		
図 面 枚 数	10 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134059 特殊マンホール浮上対策工図 S=1:50

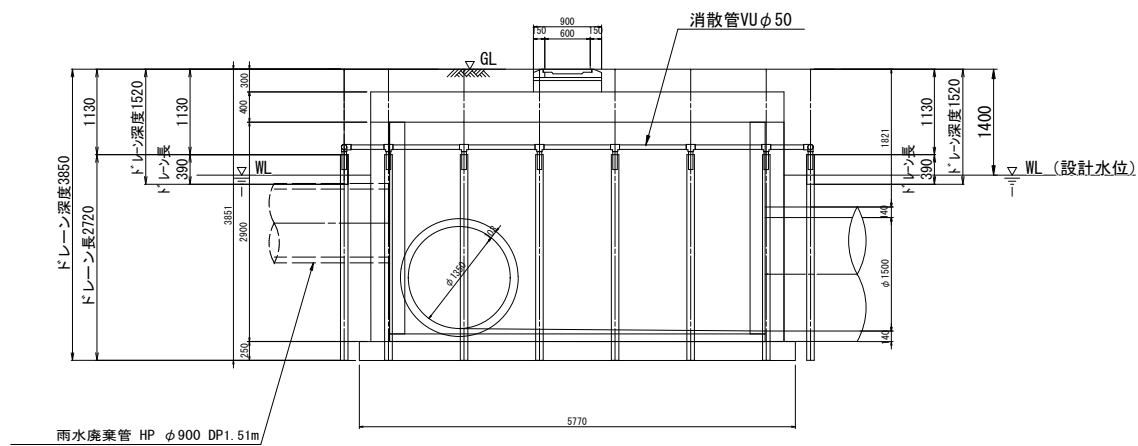
平面图



A-A 断面区



### B-B 断面图

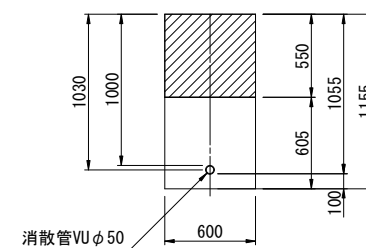


ドレーン土被り 1.13m  
ドレーン影響半径 0.71m  
本数算定用間隔 1.00m  
必要ドレーン本数 22本  
設置本数 18本  
打設不可 4本  
安全率 (Fs) 0.90  
底板影響半径 0.69m  
底板影響範囲 4.622m<sup>2</sup>

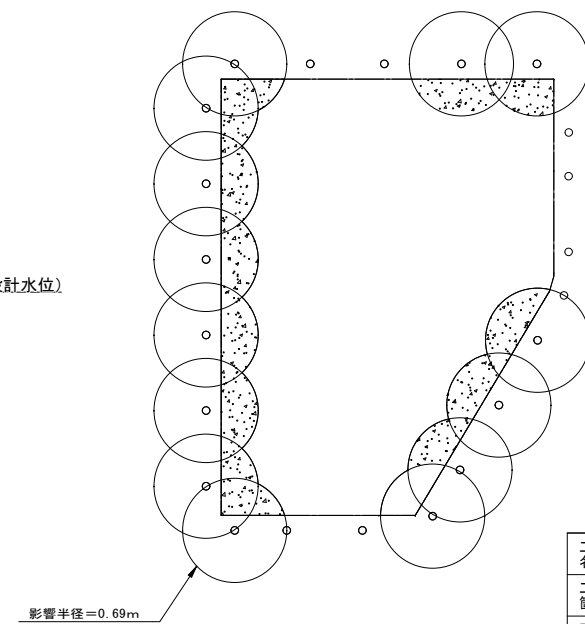
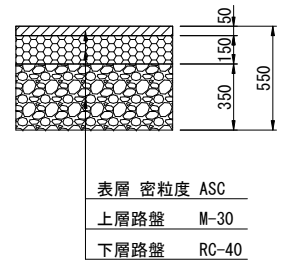
ドレーン深度	本数	ドレーン長さ
○ 打設不可	4本	0.00m
○ ④		
○ ③		
○ ② 1.52m	3本	0.39m
○ ① 3.85m	14本	2.72m

消火管 ユφ50 L= 4.38+6.17+2.88+2.93+0.90+0.20×18 = 20.86m  
 D90° エルボ φ50 N= 4 個  
 D45° エルボ φ50 N= 1 個  
 D90° Y φ50 N= 17 個  
 コンクリート 穿孔φ80mm L=0.25m

消散管 掘削断面図 S=1:25

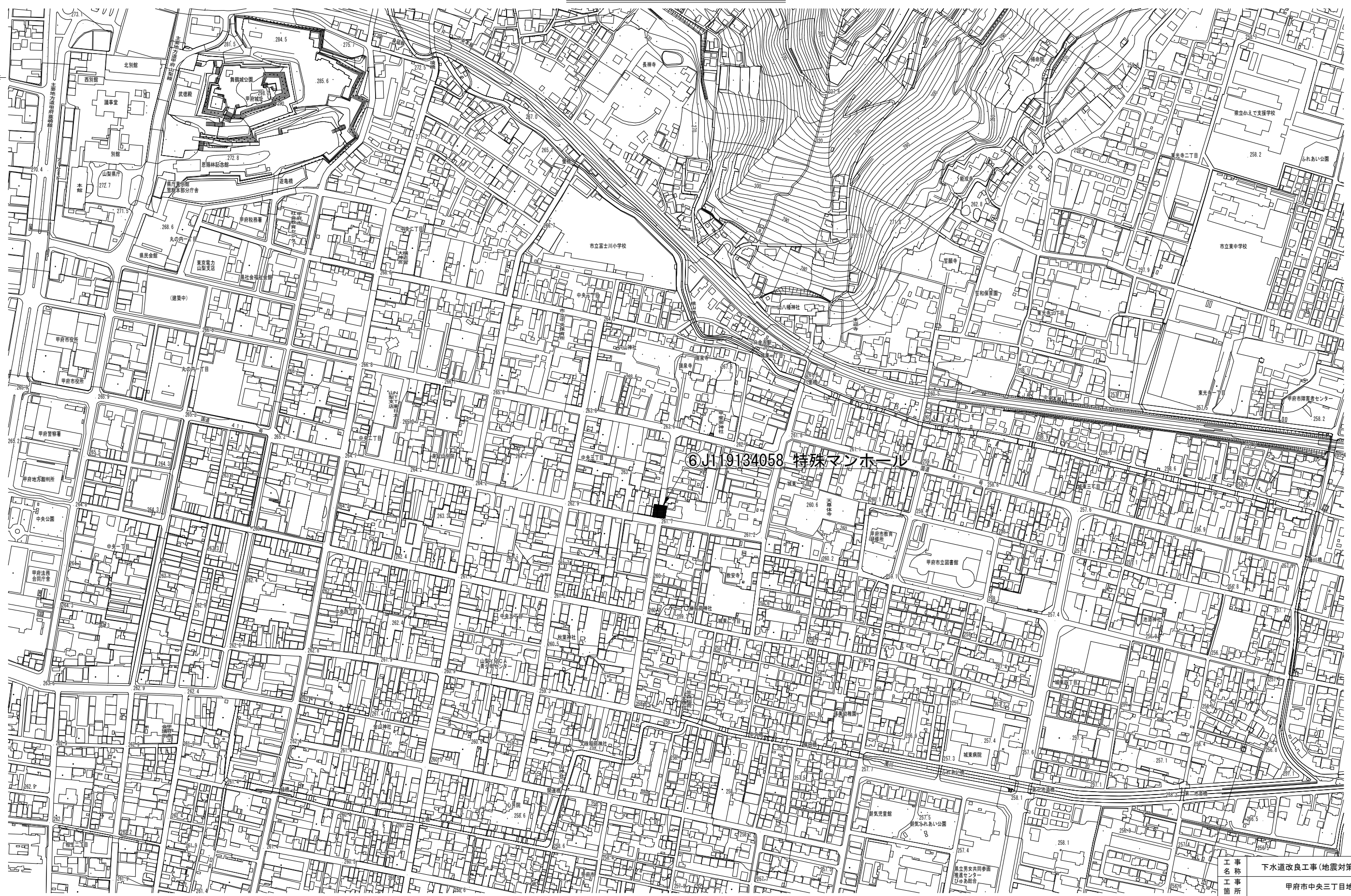
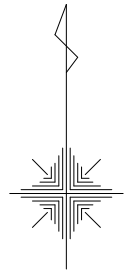


舗装構成 S=1:20  
[ A型構造 ]


$$\text{底板影響範圍} = 4.622 \text{m}^2$$

工 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 箇 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 名	J119134059 特殊マンホール浮上対策工図		
図 枚	11 / 32	縮尺	1:50
甲府市上下水道局			

位置図 S=1:2,500

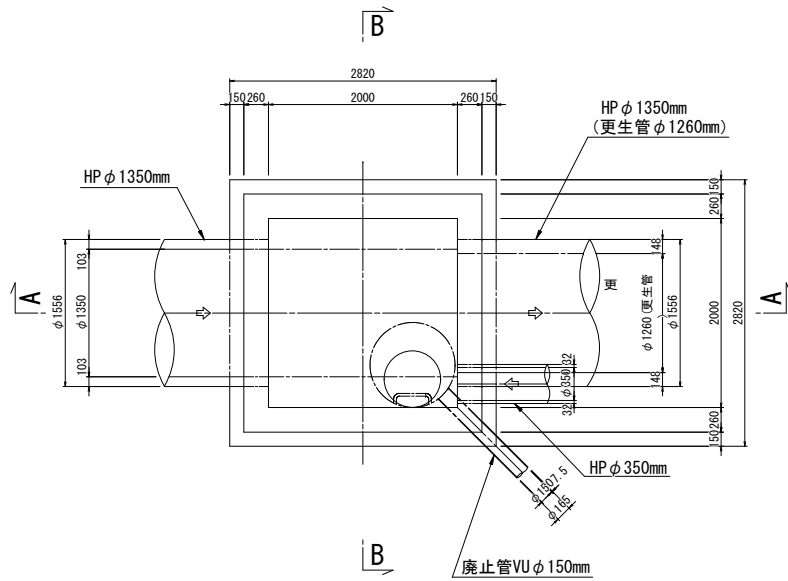


工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 箇 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名 称	⑥J119134058 特殊マンホール位置図		
図 面 枚 数	12 / 32	縮 尺	1:2,500
甲 府 市 上 下 水 道 局			

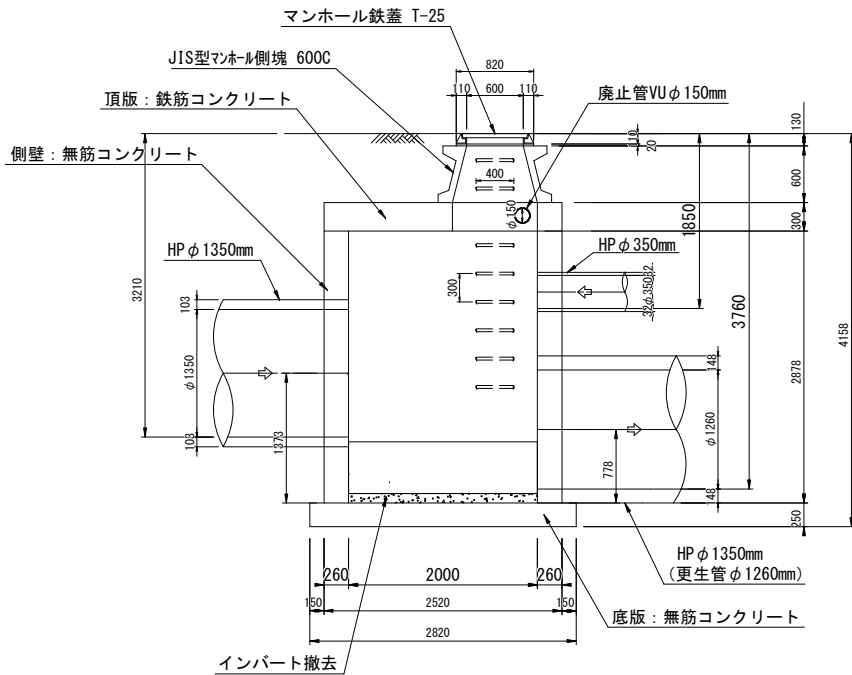
既  
設  
構  
造  
図

J119134058 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図 S=1:40

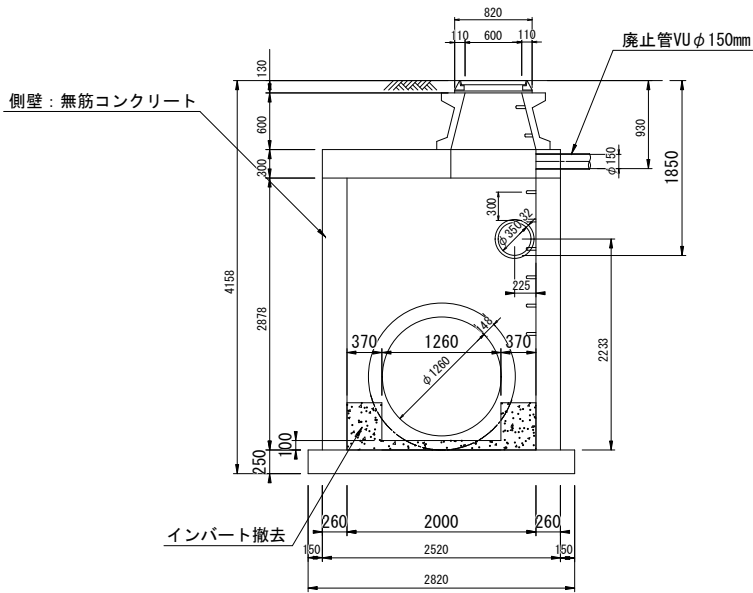
平面図



A-A 断面図

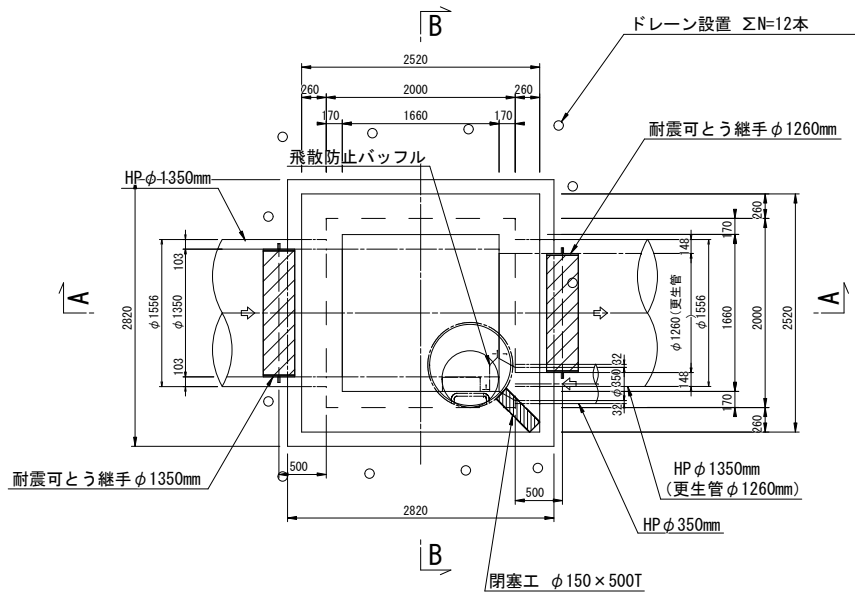


B-B 断面図

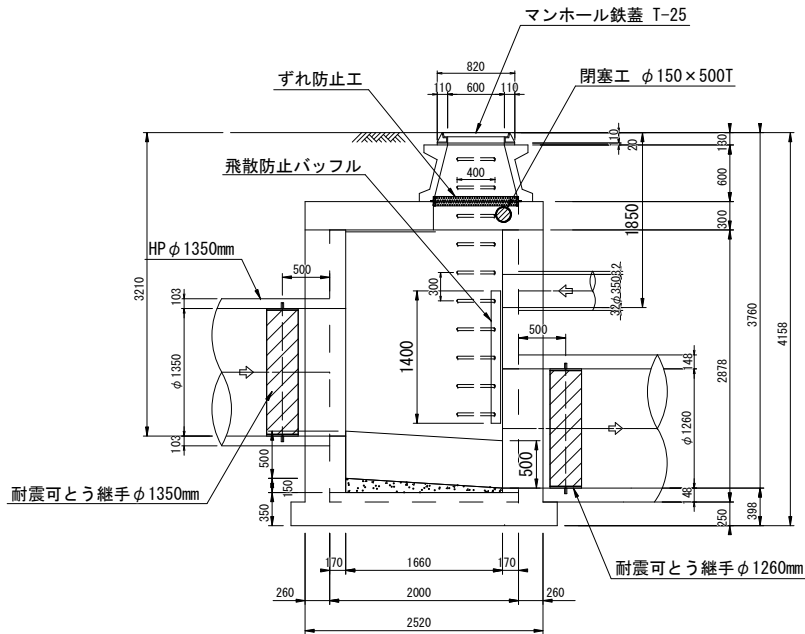


完  
成  
構  
造  
図

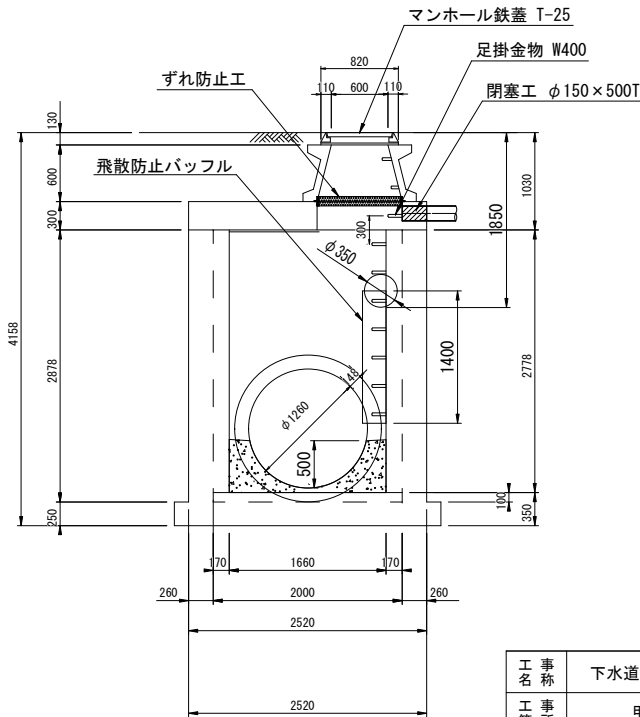
平面図



A-A 断面図



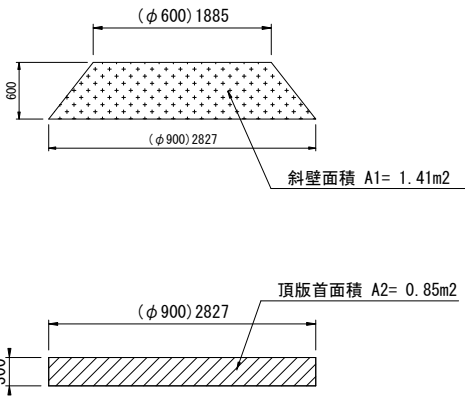
B-B 断面図



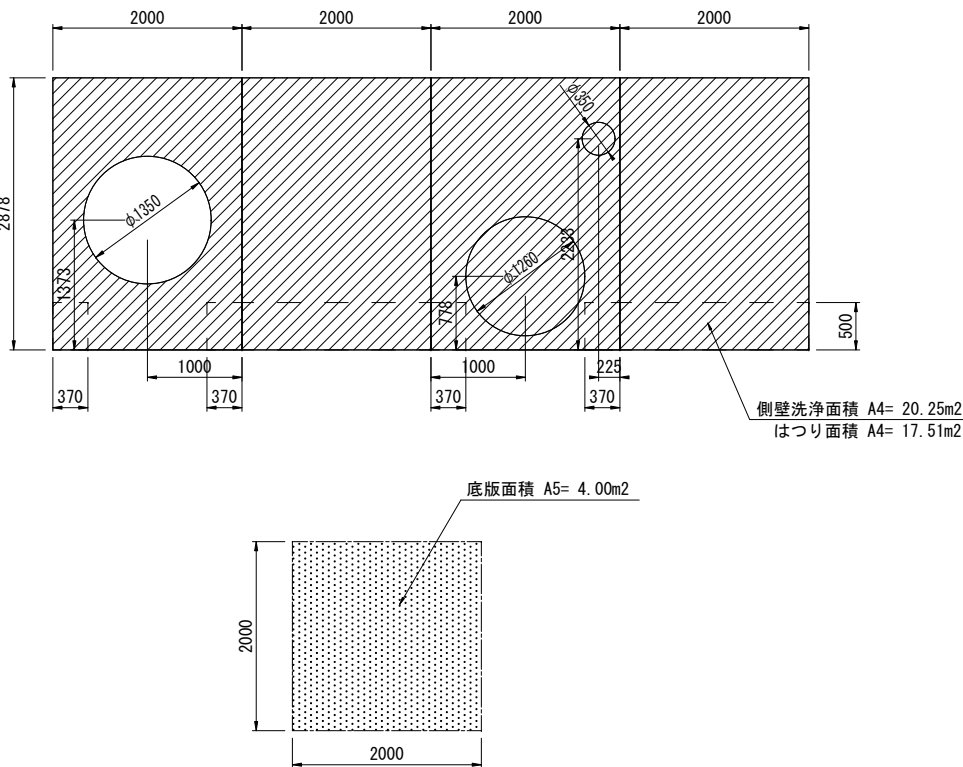
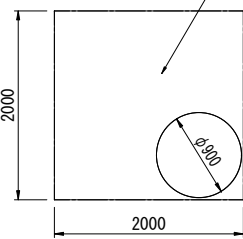
工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134058 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図		
図 面 枚 数	13 / 32	縮 尺	S=1 : 40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134058 特殊マンホールはつり・断面修復工図 S=1:40

人孔内面展開図



天井面積  $A_3 = 3.36\text{m}^2$

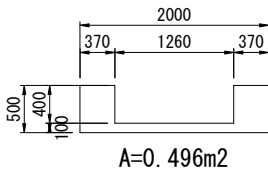


はつり・洗淨工・断面修復等 数量表

項 目	面積 (m2)	洗浄工 (m2)	はつり厚 (mm)	はつり面積 (m2)	人力取壊し工 (m3)	断面修復工 (m2)	更生面積 (m2)	備考
斜 壁 A1	1.41	1.41	－	－	－	－	－	
直 壁 A2	0.85	0.85	－	－	－	－	－	
天 井 A3	3.36	3.36	10	3.36	－	3.36	－	
躯体側壁 A4	20.25	20.25	10	17.51	－	－	－	
底 版 A5	4.00	4.00	－	－	－	－	－	
インバート工					0.99			復旧0.85m3
計		29.87		20.87	0.99	3.36	－	

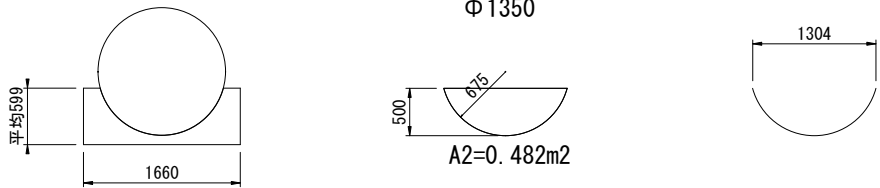
注) 1. はつり工は、人力による切削工とする。  
2. 頂版に鉄筋が露出していた場合は、裏側までハツリ出して防錆材の塗布を行う。

インバート取り壊し平均断面



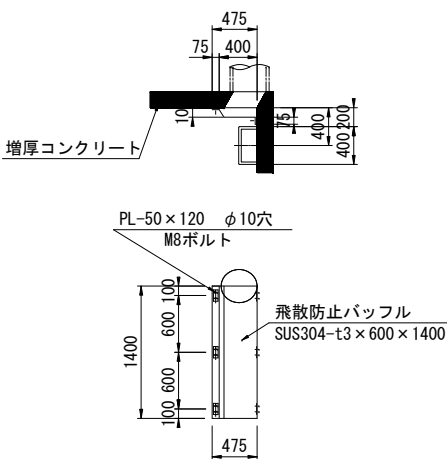
取壞  $\cup V = 0.496 \times 2.00 = 0.992 \text{ m}^3$

インバート控除面積



復旧  $V=1.66 \times 1.66 \times 0.599 - 0.482 \times 1.66 = 0.851 \text{m}^3$

飛散防止バツフル詳細図



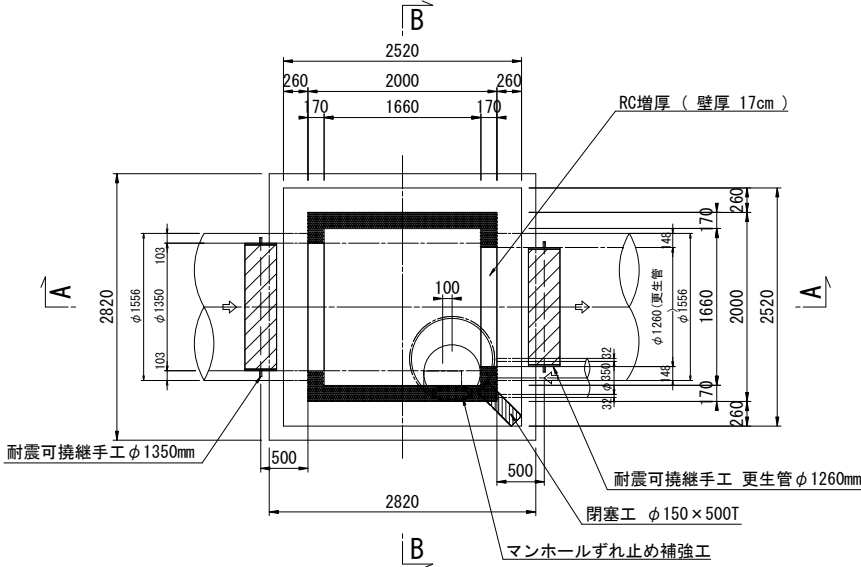
改築更新材料及び補修工

項 目	仕 様	単位	数量	備 考
足掛金物撤去	W-400	本	6	
足掛金物設置	W-400	本	8	
浸入水止水処理	Vカット工法	m	1.0	侵入水(0.5m×2ヶ所)
飛散防止バッフル	SUS304	箇所	1	L=1.4m
転落防止梯子（後付け）	φ600用	個	1	

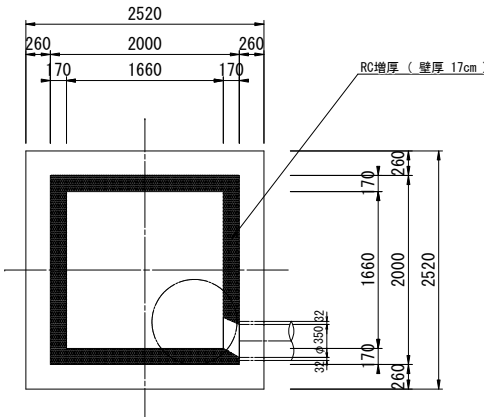
工 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
工 箇	J119134058		
図 名	特殊マンホールはつり・断面修復工図		
図 枚	14 / 32	縮尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134058 特殊マンホール耐震補強構造図 S=1:40

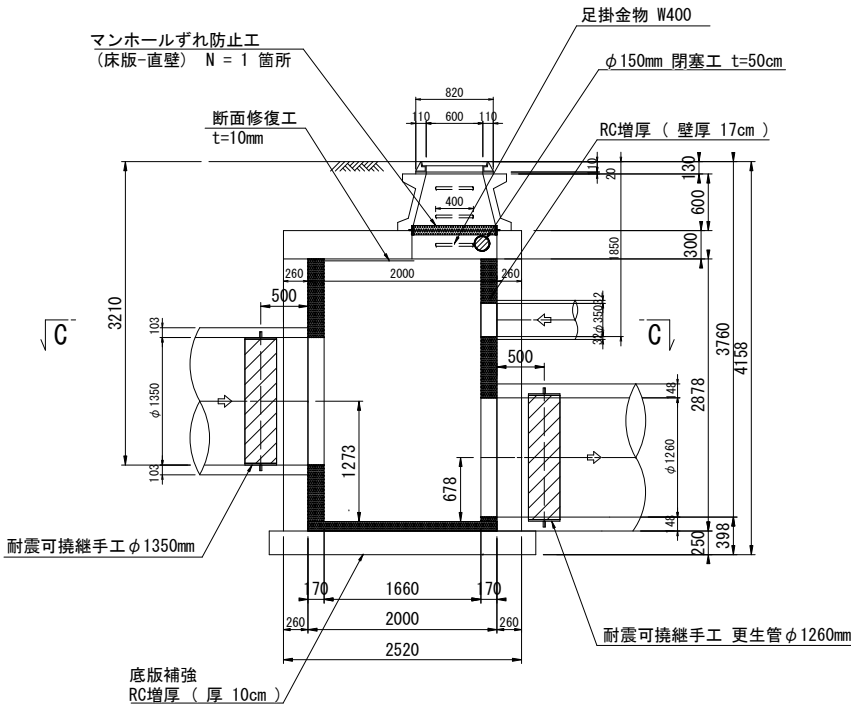
平面图



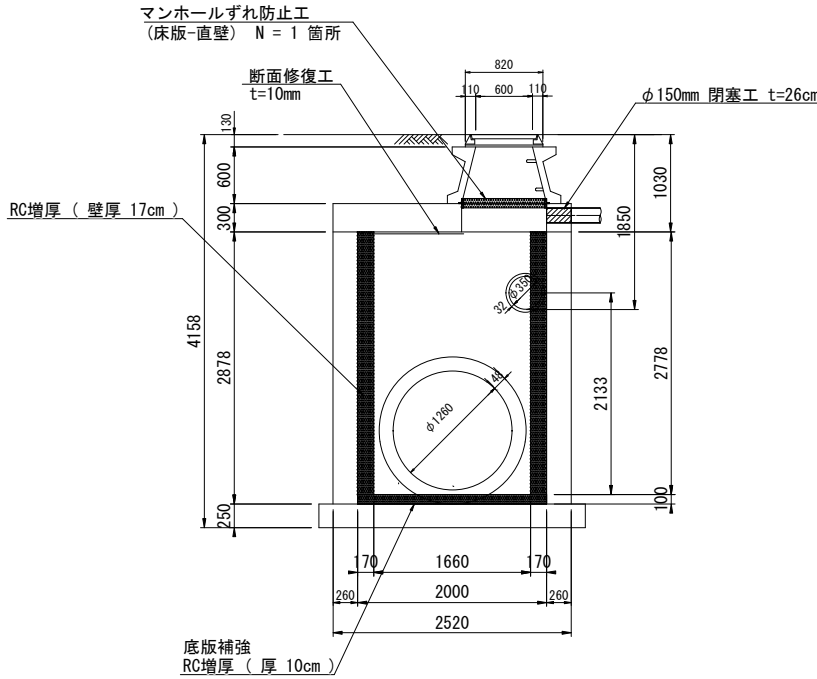
C-C 断面图



### A-A 断面图

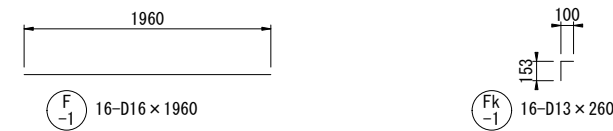
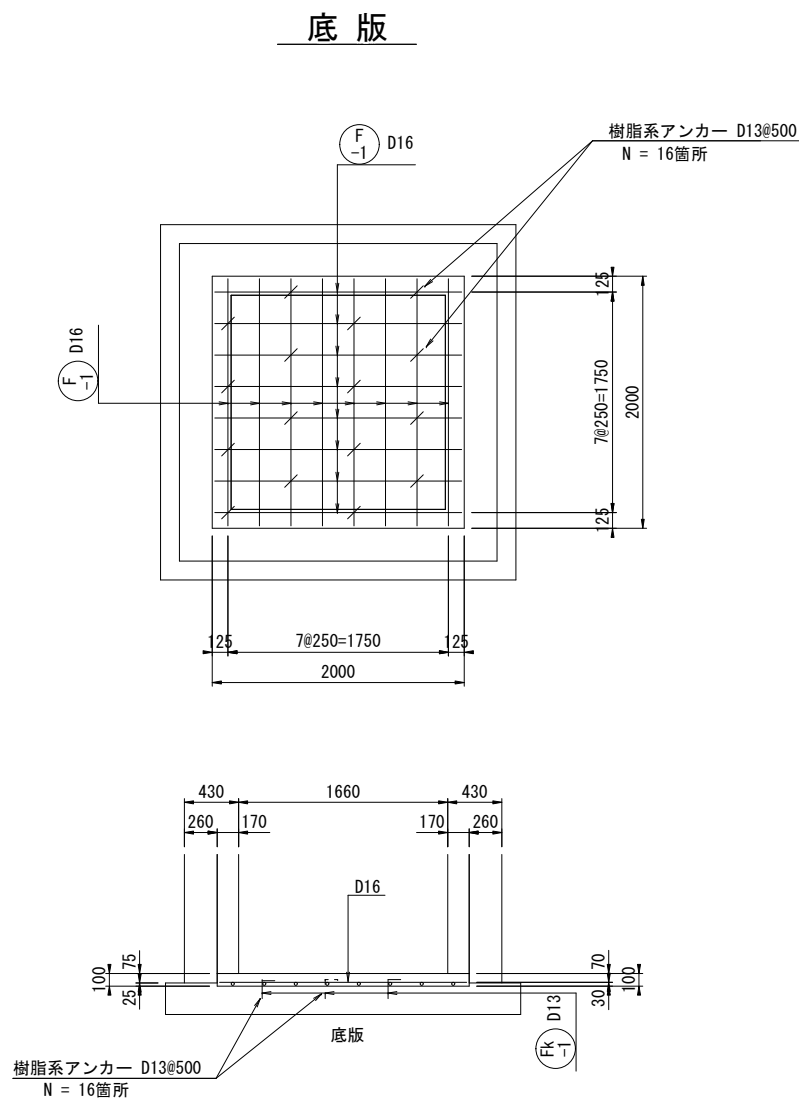


### B-B 断面图



工事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工事 箇所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図面 名称	J119134058 特殊マンホール耐震補強構造図		
図板 面数	15 / 32	縮尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

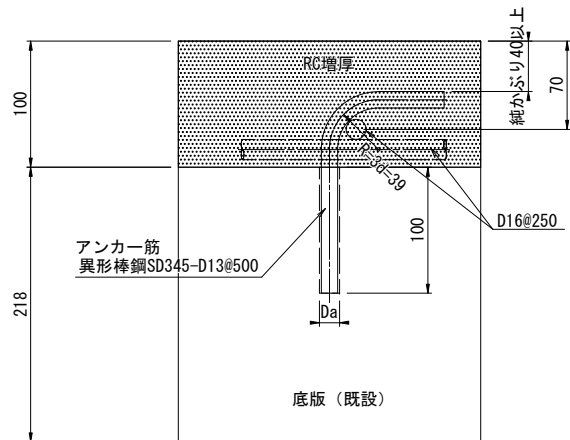
J119134058 特殊マンホール配筋図（１） S=1:30



底版 鉄筋数量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	摘要
F-1	D16	1960	16	1.56	3.06	49.0	
Fk-1	D13	260	16	0.995	0.26	4.2	
		SD345	D16			49.0 kg	
		SD345	D13			4.2 kg	

あと施工アンカー標準図



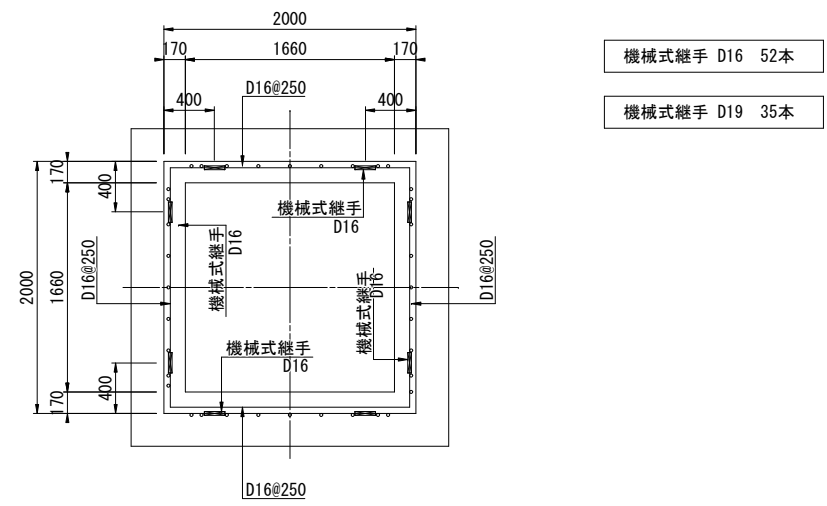
特記

- あと施工アンカーは、接着系アンカーとする。
- 接着剤は、樹脂カプセル型の有機系のものとし基本接着強度10N/mm2とする。
- ハツリ又は洗浄後の躯体には、目荒しを施す事とする。
- アンカーの埋込穴の直径は、各メーカーのアンカー規格に合った適正なドリルビット径とし、穴の周辺コンクリートに損傷を与えない物でなければならない。
- アンカー孔内の切粉やゴミを、占有ブラシ・ブロアーを使用して念入りに清掃すること。
- 穴あけに失敗した場合は、2.5d以上離して再度穴あけを行う。失敗アンカー孔はモルタルにて補修すること。

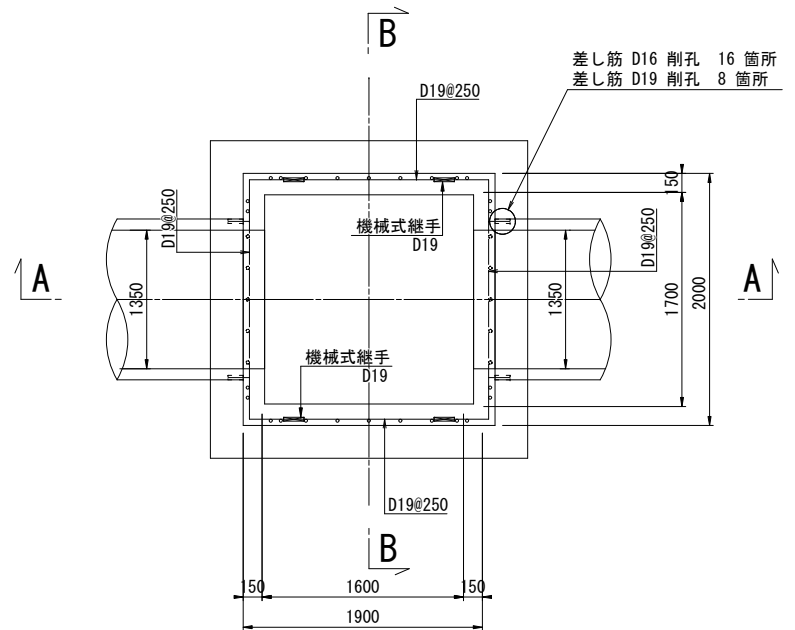
工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 箇 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名 称	J119134058 特殊マンホール配筋図（１）		
図 面 枚 数	16 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			



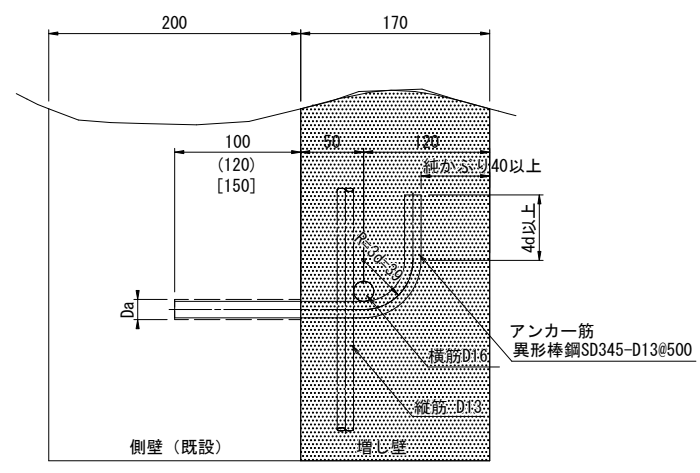
側壁標準配筋図  
(C-C)



D-D 断面図

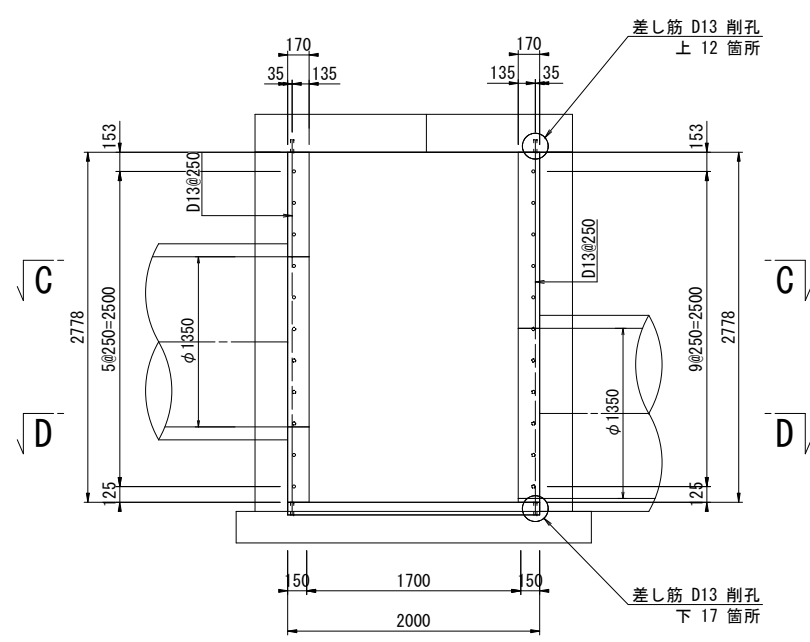


あと施工アンカー標準図

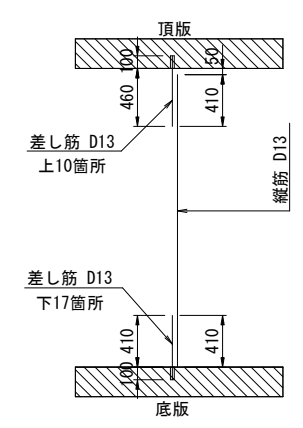
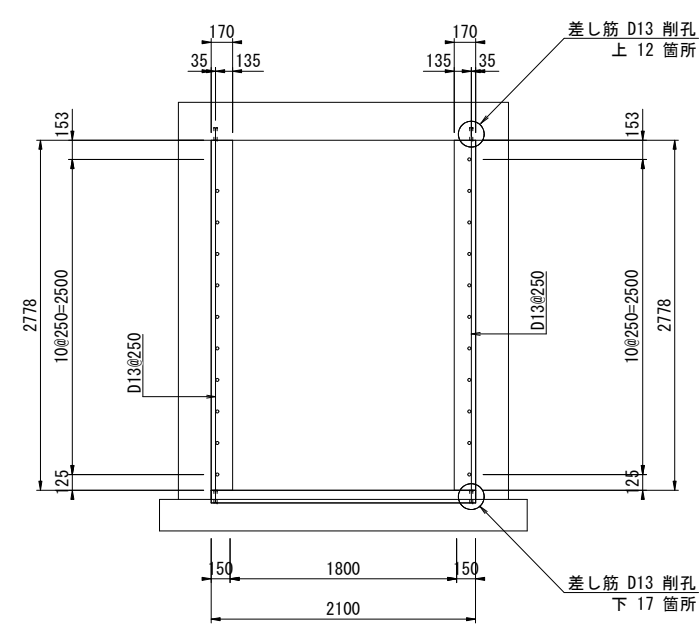


特記：頂版及び底版に施工するアンカーを参照  
( ) 内は D16mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。  
[ ] 内は D19mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。

A-A 断面図



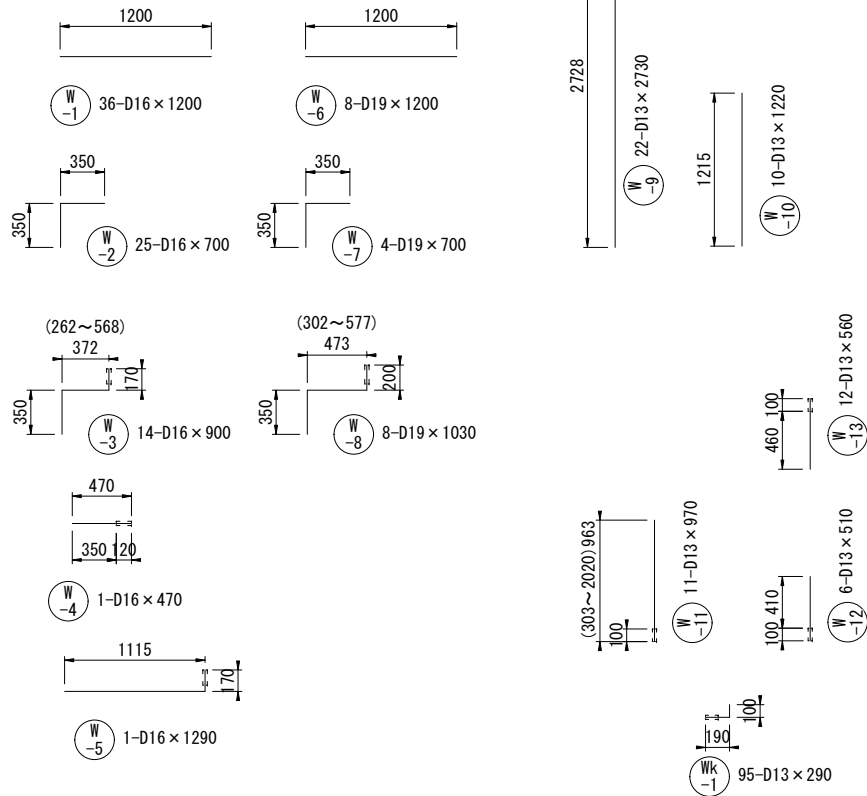
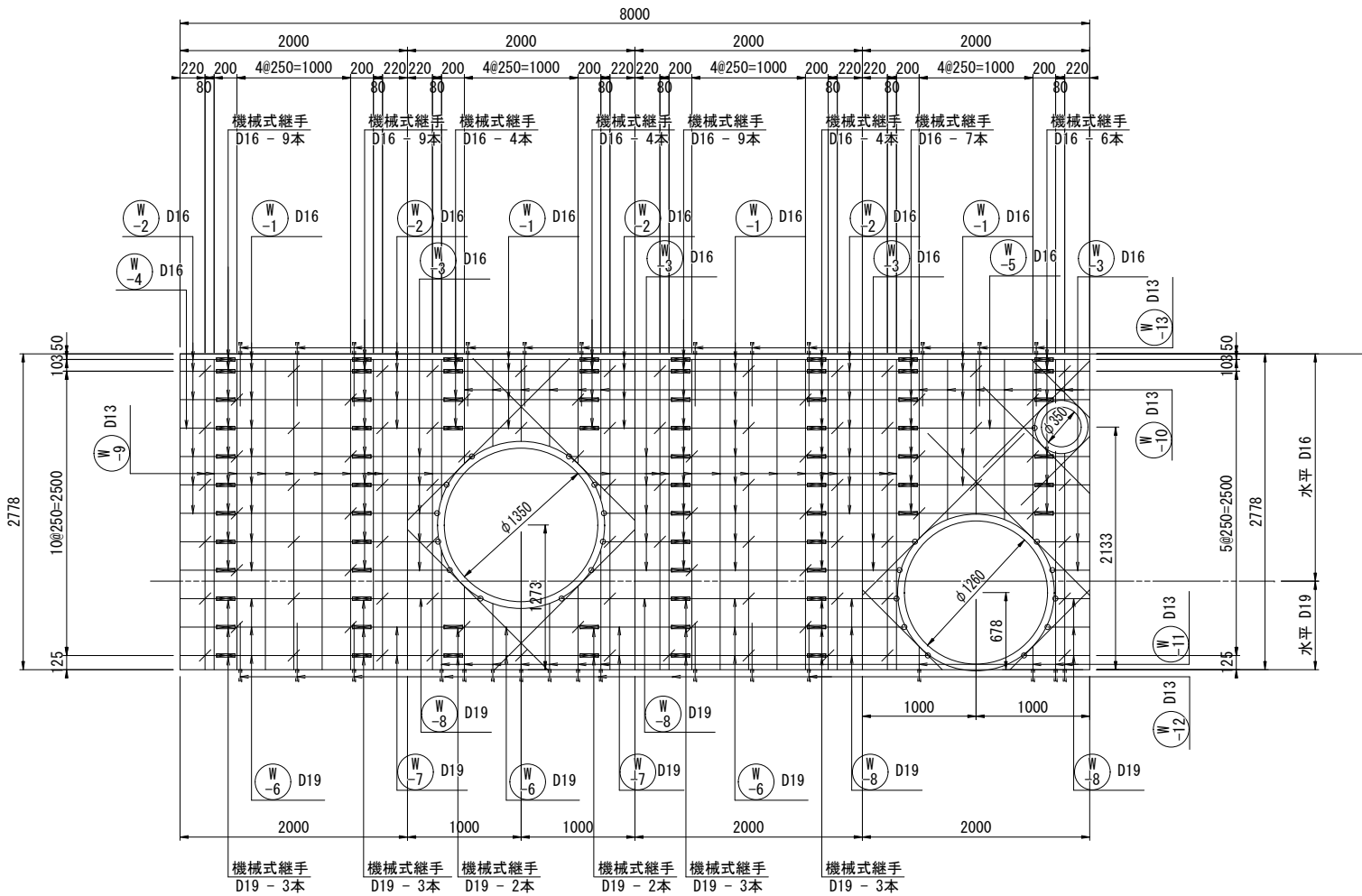
B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 名	J119134058 特殊マンホール配筋図（2）		
図 面 枚 数	17 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

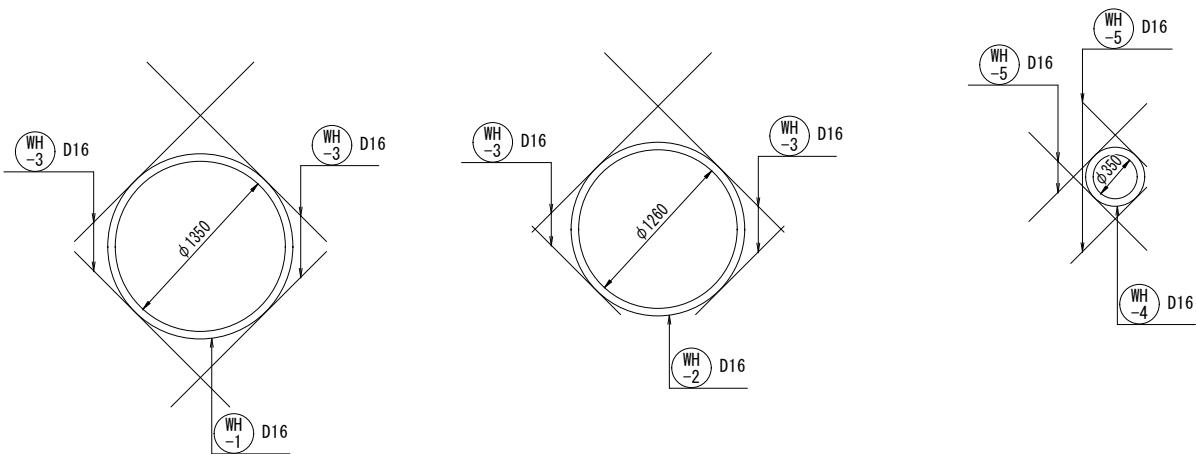
J119134058 特殊マンホール配筋図（3） S=1:30

側壁展開図



側壁 鉄筋質量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	D13 (kg)	D16 (kg)	D19 (kg)	摘要
W-1	D16	1200	36	1.56	1.87	67.3		67.3		
W-2	D16	700	25	1.56	1.09	27.3		27.3		
W-3	D16	900	14	1.56	1.40	19.6		19.6		
W-4	D16	470	1	1.56	0.73	0.7		0.7		
W-5	D16	1290	1	1.56	2.01	2.0		2.0		
W-6	D19	1200	8	2.25	2.70	21.6			21.6	
W-7	D19	700	4	2.25	1.58	6.3			6.3	
W-8	D19	1030	8	2.25	2.32	18.6			18.6	
W-9	D13	2730	22	0.995	2.72	59.8	59.8			
W-10	D13	1220	10	0.995	1.21	12.1	12.1			
W-11	D13	970	11	0.995	0.97	10.7	10.7			
W-12	D13	510	6	0.995	0.51	3.1	3.1			
W-13	D13	560	12	0.995	0.56	6.7	6.7			
Wk-1	D13	290	95	0.995	0.29	27.6	27.6			
WH-1	D19	5220	1	2.25	11.75	11.8			11.8	
WH-2	D19	4940	1	2.25	11.12	11.1			11.1	
WH-3	D19	1510	8	2.25	3.40	27.2			27.2	
WH-4	D16	1580	1	1.56	2.46	2.5		2.5		
WH-5	D16	1620	4	1.56	2.53	10.1		10.1		
計						346.1	120.0	129.5	96.6	
SD345				D19		96.6 kg				
SD345				D16		129.5 kg				
SD345				D13		120.0 kg				
機械式継手				D16		52 本				
機械式継手				D19		16 本				



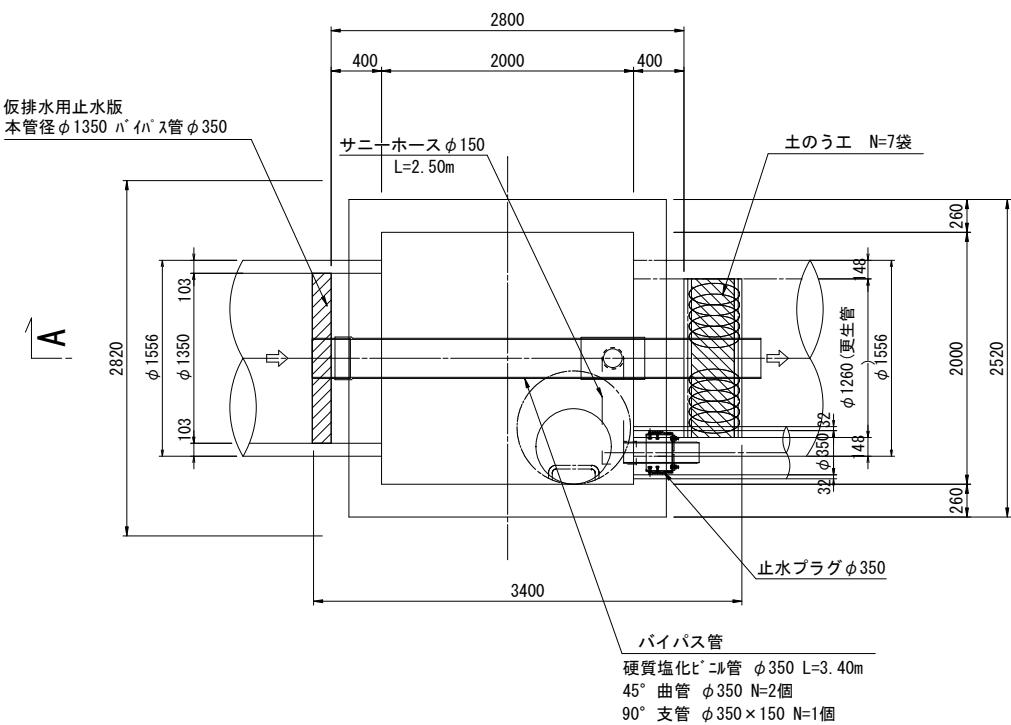
削孔数量

削孔	数量	備考
D13用（上向）	12 箇所	W13の本数に同じ
D13用（横向）	95 箇所	Wk1の本数に同じ
D13用（下向）	17 箇所	W11+W12の本数に同じ
D16用（横向）	16 箇所	W3+W4+W5の本数に同じ
D19用（横向）	8 箇所	W3+W4+W5の本数に同じ

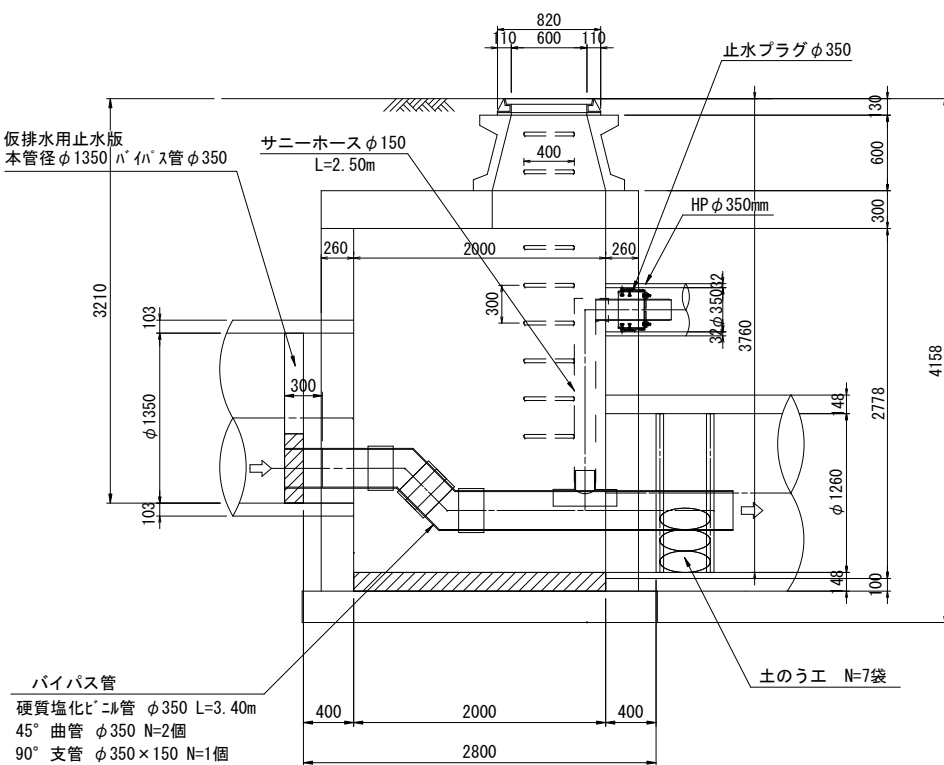
工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-4) (余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名 称	J119134058 特殊マンホール配筋図（3）		
図 面 枚 数	18 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134058 特殊マンホール仮排水仮設図 S=1:30

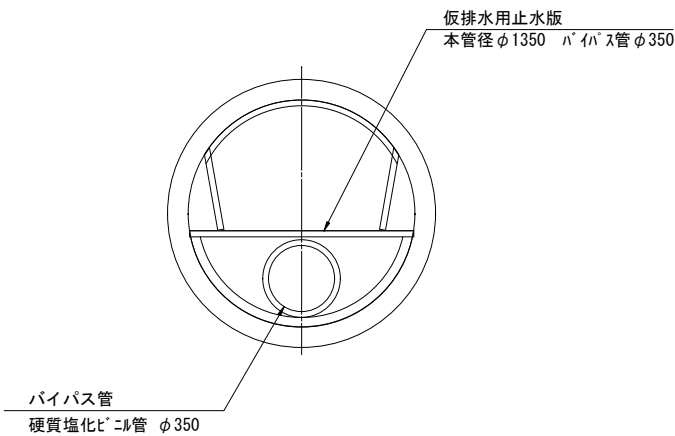
平面図



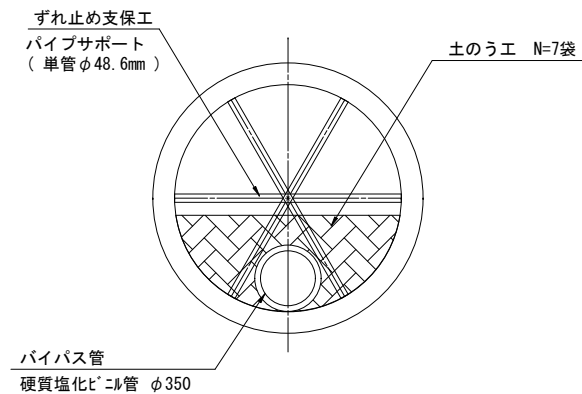
A-A 断面図



B-B 断面図



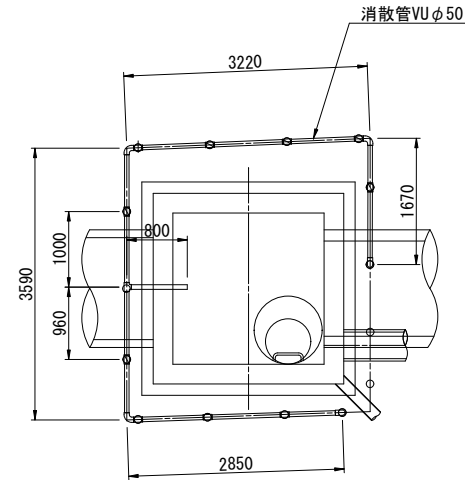
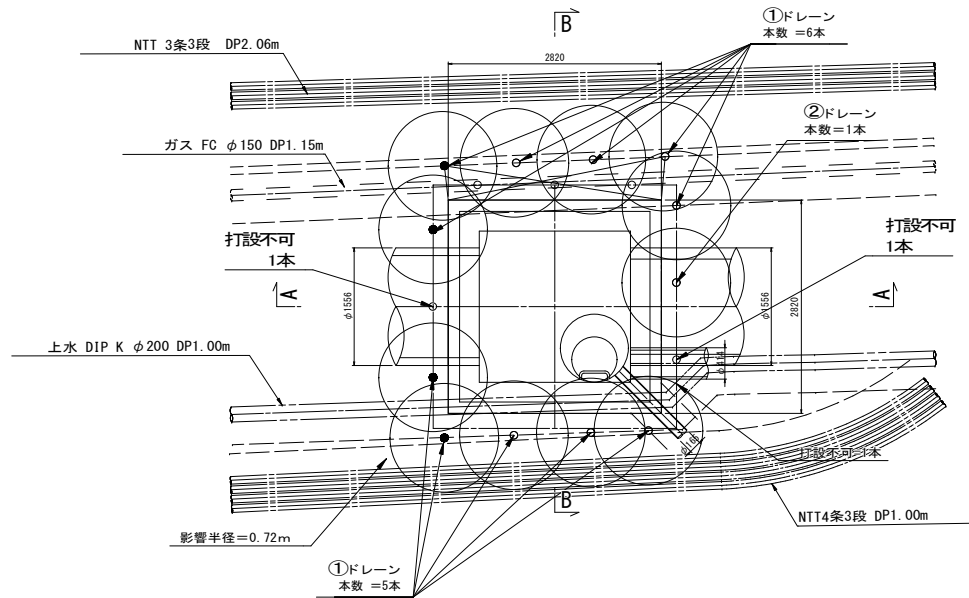
C-C 断面図



工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 名 称	J119134058 特殊マンホール仮排水仮設図		
図 面 枚 数	19 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134058 特殊マンホール浮上対策工図 S=1:50

平面图

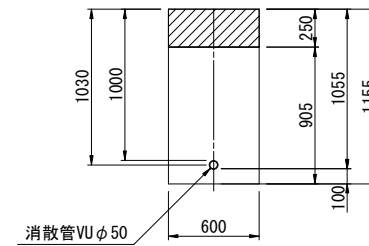


ドレーン土被り 1.13m  
ドレーン影響半径 0.72m  
本数算定用間隔 1.02m  
必要ドレーン本数 14本  
設置本数 11本  
打設不可 3本  
安全率 ( $F_s$ ) 1.08  
底版影響半径 0.70m  
底版影響範囲 2.343m<sup>2</sup>

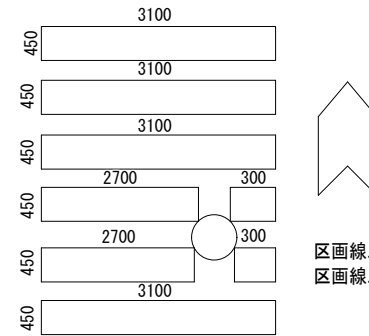
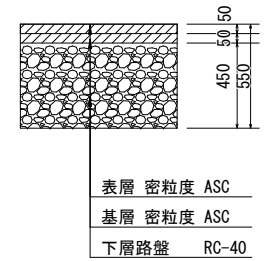
ドレーン深度	本数	ドレーン長さ
○ 打設不可	2本	0.00m
○ ④		
○ ③		
○ ② 1.62m	1本	0.49m
○ ① 3.57m	11本	2.44m

消散管 VUφ50 L=1.67+3.22+3.59+2.85+0.80+0.20×12 = 14.53m  
 DV90° エルボφ50 N = 5 個  
 DV90° Y φ50 N = 11 個  
 コンクリート削孔φ80mm L=0.26m

消散管 掘削断面図 S=1:25

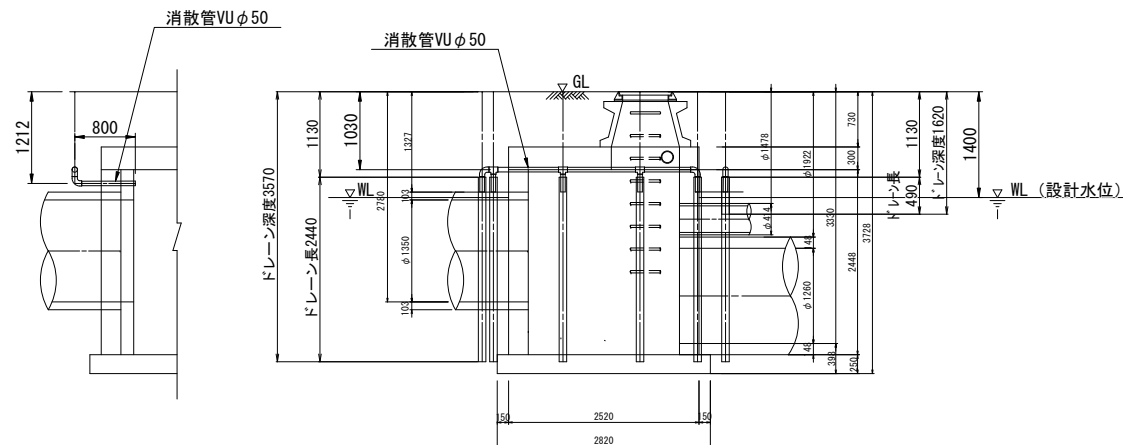


舗装構成 S=1:20

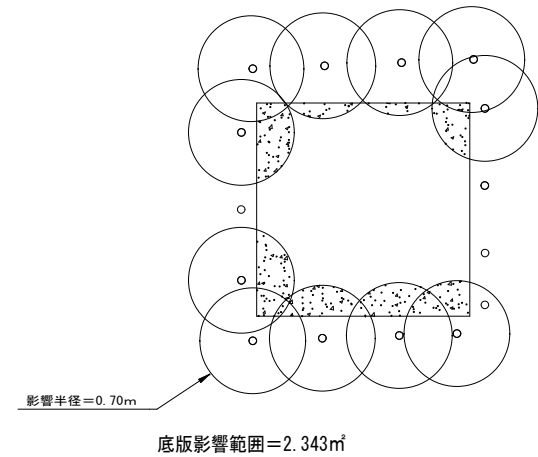
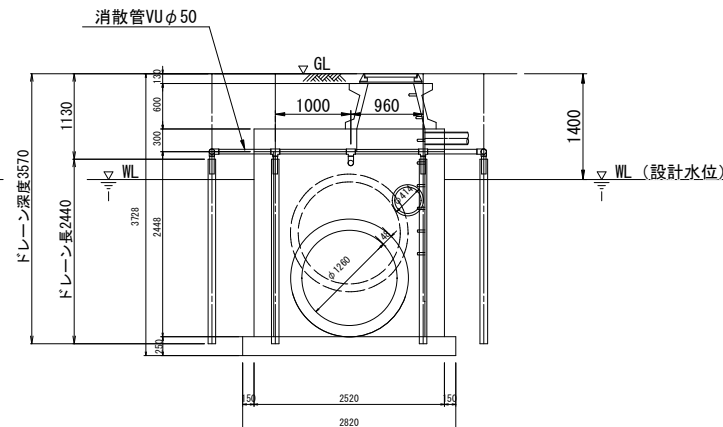


区画線工(白色 W=45cm)L=3.1×4+2.7×2+0.3×2=18.4m  
区画線工(矢羽根型路面標示)N=1箇所

A-A 断面图

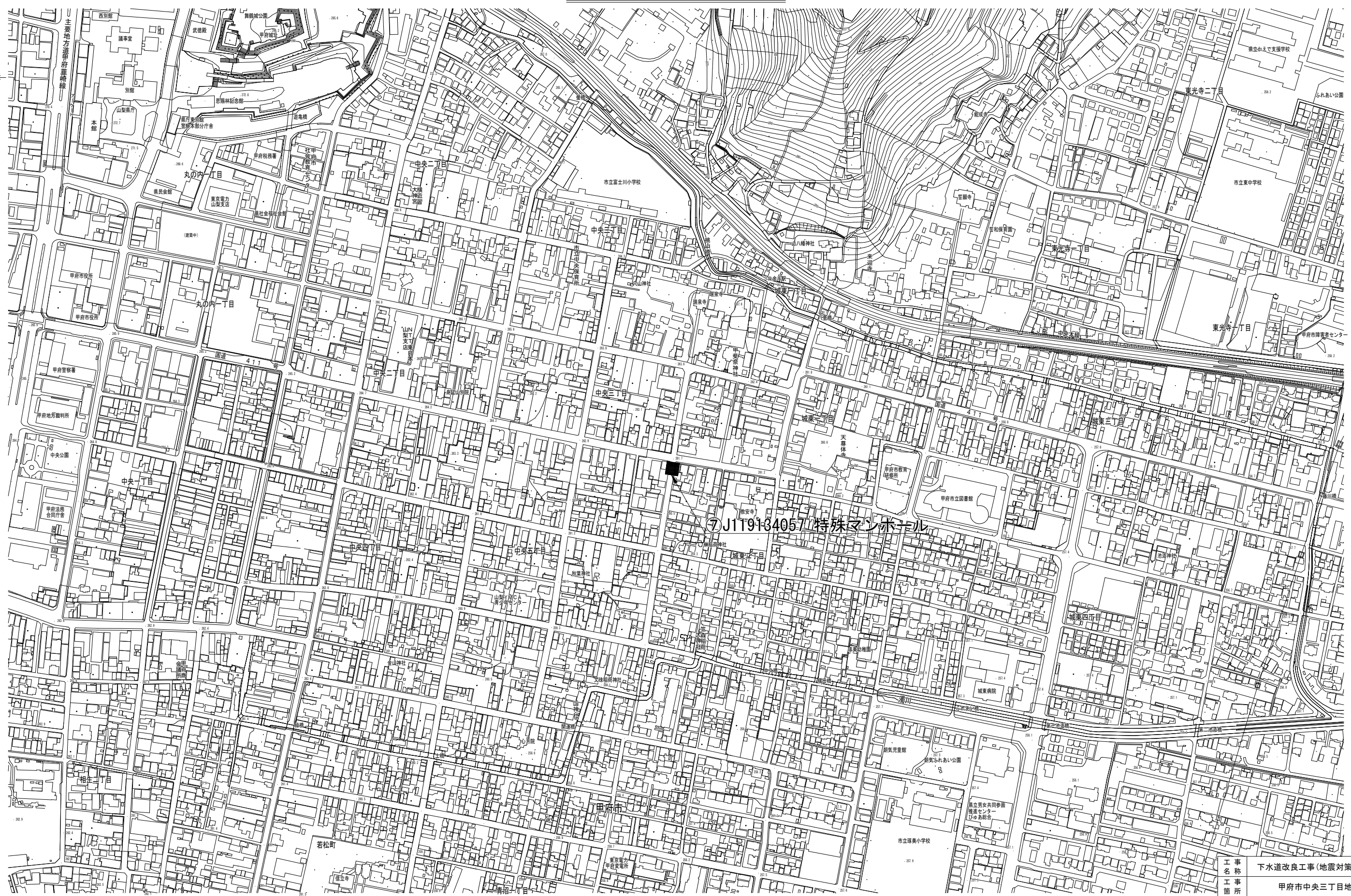
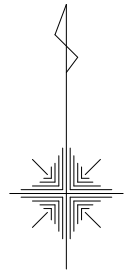


B-B 断面图



工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 名	J119134058 特殊マンホール浮上対策工図		
図 枚 数	20 / 32	縮尺	図示
甲 府 市 上 下 水 道 局			

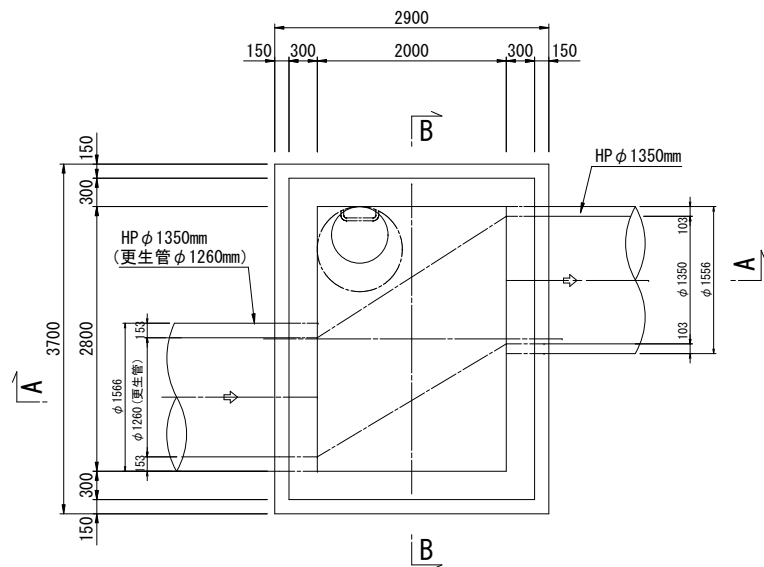
位置図 S=1:2,500



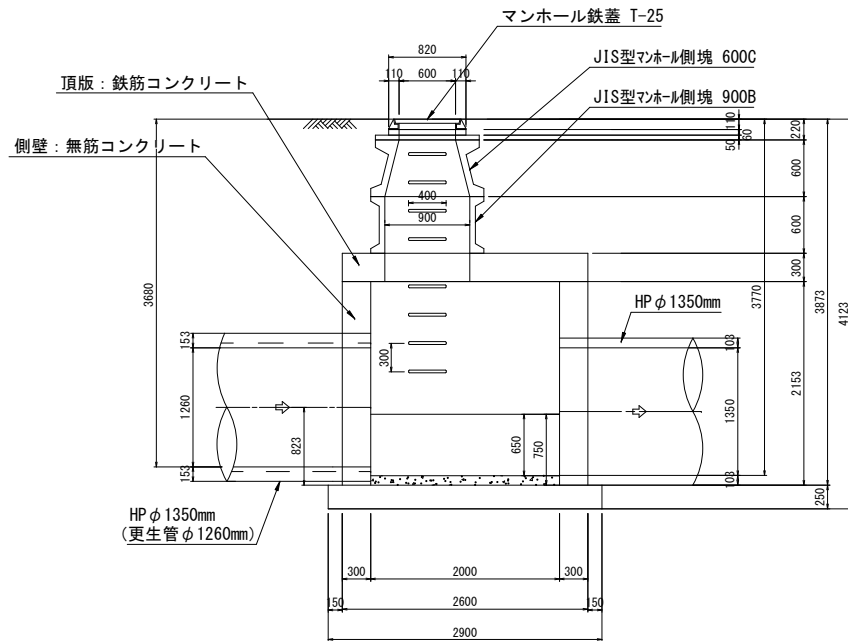
工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	㊦J119134057 特殊マンホール位置図		
図 面 枚 数	21 / 32	縮 尺	1:2,500
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134057 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図 S=1:40

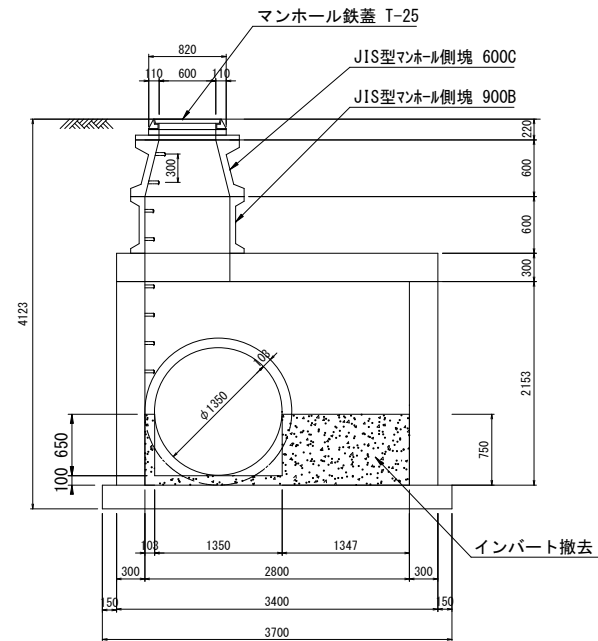
平面図



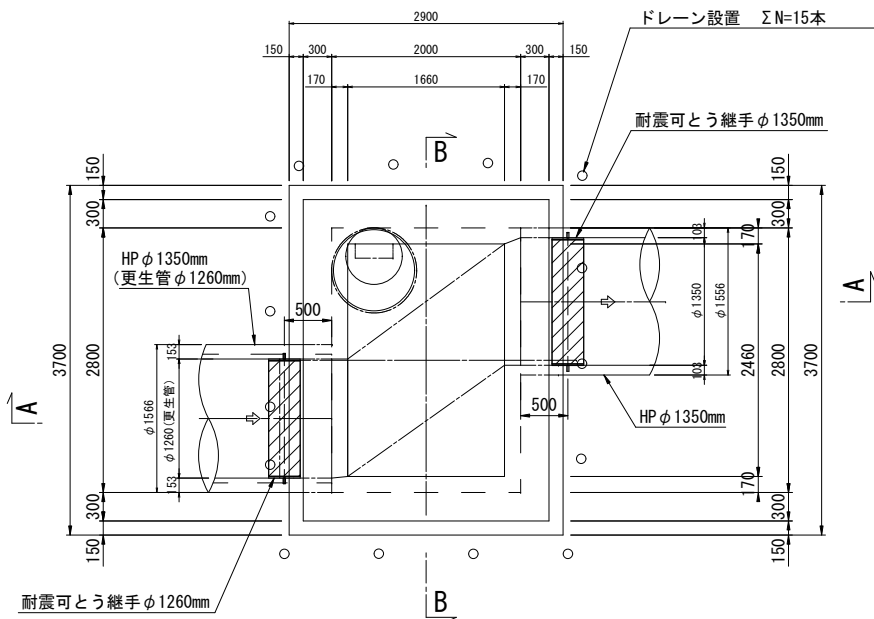
A-A 断面図



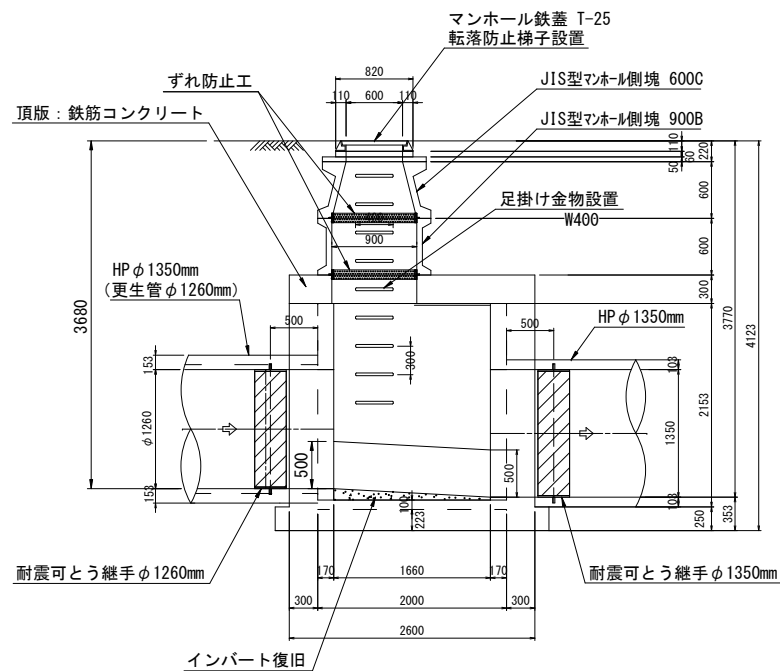
B-B 断面図



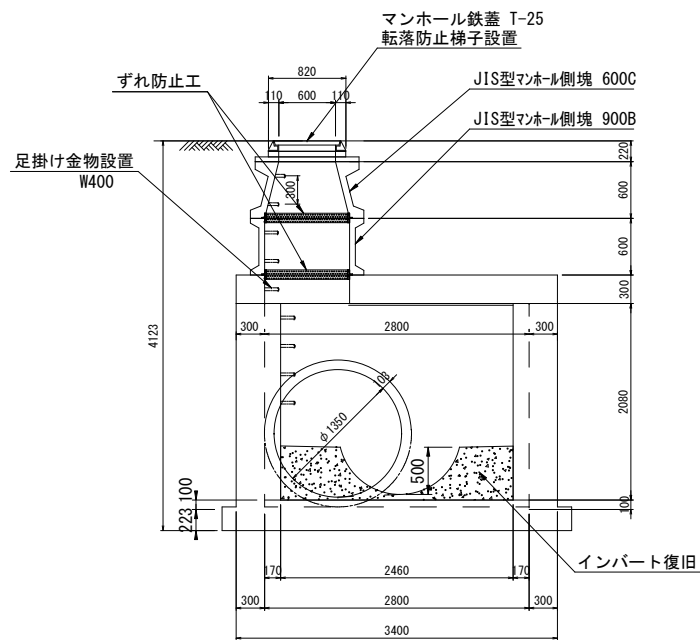
平面図



A-A 断面図



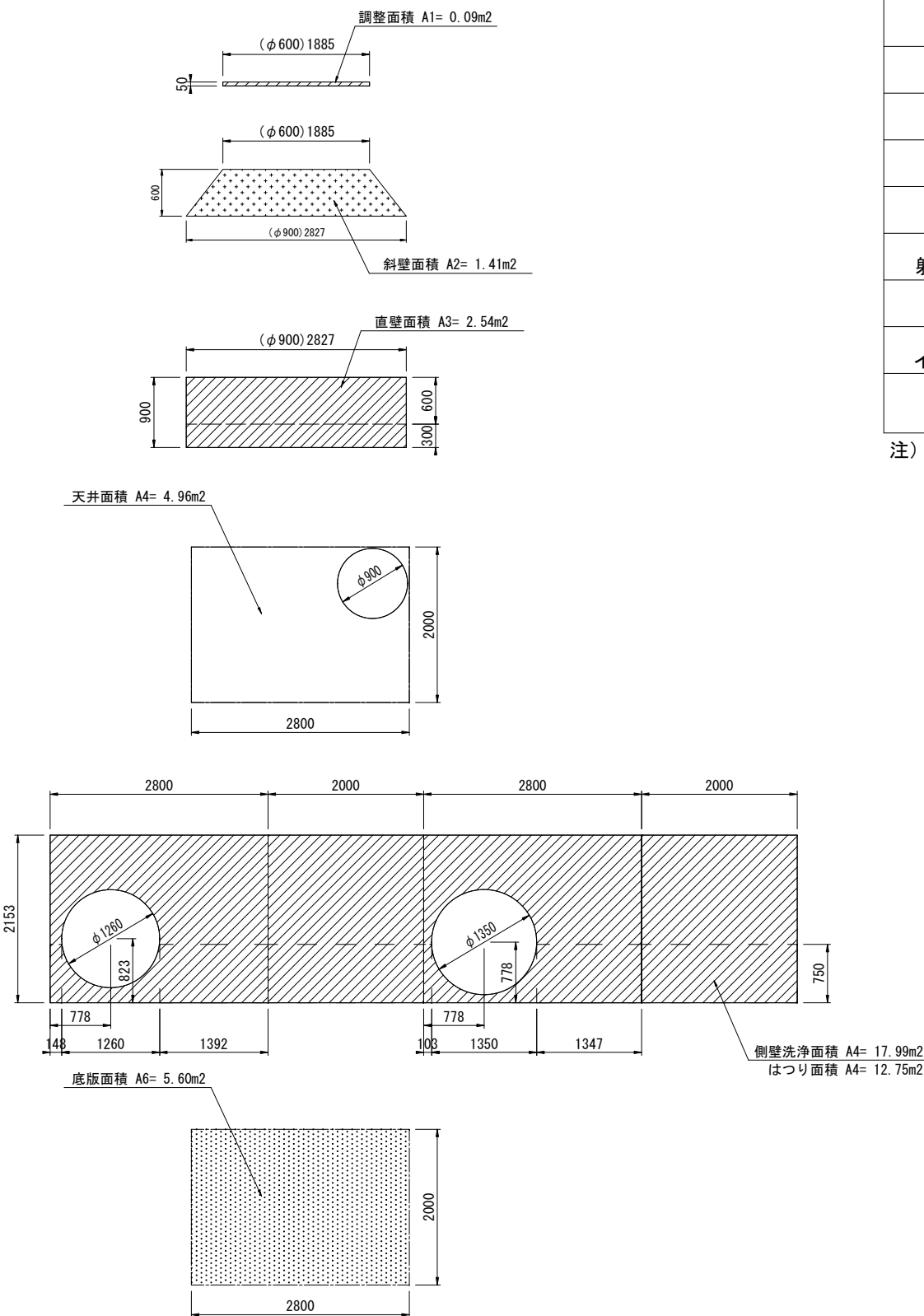
B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4) (余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134057 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図		
図 面 枚 数	22 / 32	縮 尺	S=1 : 40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134057 特殊マンホールはつり・断面修復工図 S=1:40

人孔内面展開図

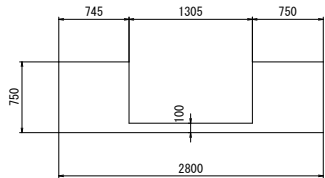


はつり・洗淨工・断面修復等 数量表

項 目	面積 (m2)	洗淨工 (m2)	はつり厚 (mm)	はつり面積 (m2)	人力取壊し工 (m3)	断面修復工 (m2)	備考
調整高 A1	0.09	0.09	-	-	-	-	
斜 壁 A2	1.41	1.41	-	-	-	-	
直 壁 A3	2.54	2.54	-	-	-	-	
天 井 A4	4.96	4.96	10	4.96	-	4.96	
躯体側壁 A5	17.99	17.99	10	12.75	-	-	
底 版 A6	5.60	5.60	27	5.60	-	-	
インバート工					2.50		復旧1.89m3
計		32.59		23.31	2.50	4.96	

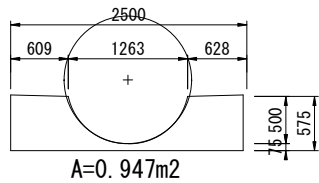
注) 1. はつり工は, 人力による切削工とする。  
2. 頂版に鉄筋が露出していた場合は, 裏側までハツリ出して防錆材の塗布を行う。

インバート取り壊し平均斜断面形状 (直角延長=2.00m)



取壊しV=2.800×2.00×0.75=4.200m3  
控除△V=1.305×2.00×0.65=-1.697m3  
計 =2.503m3

復旧平均斜断面形状



復旧 V=0.947×2.00=1.894m3

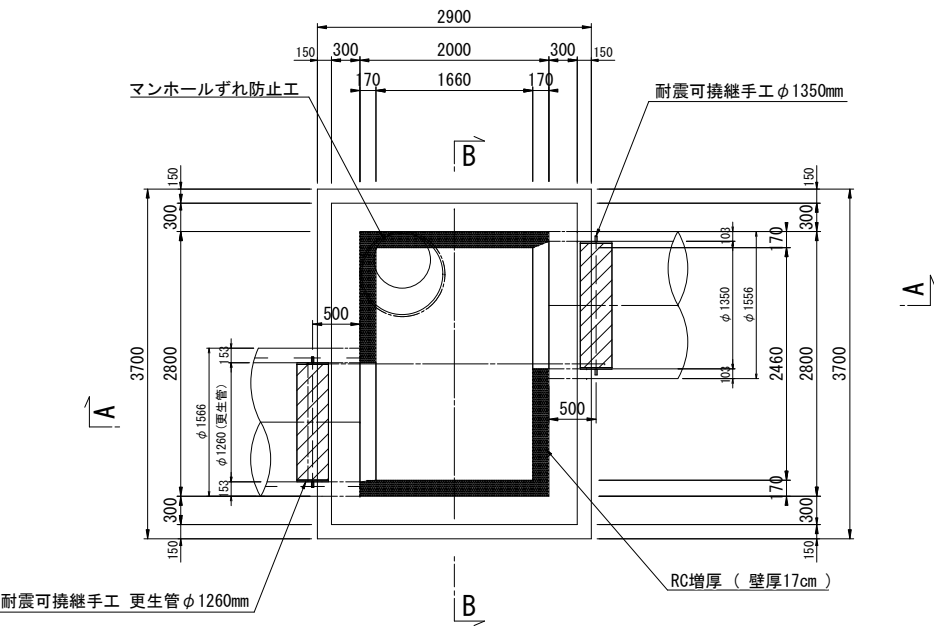
改築更新材料及び補修工

項 目	仕 様	単位	数量	備 考
足掛金物撤去	W-150	本	4	
足掛金物設置	W-400	本	5	
転落防止梯子 (後付け)	φ 600用	個	1	

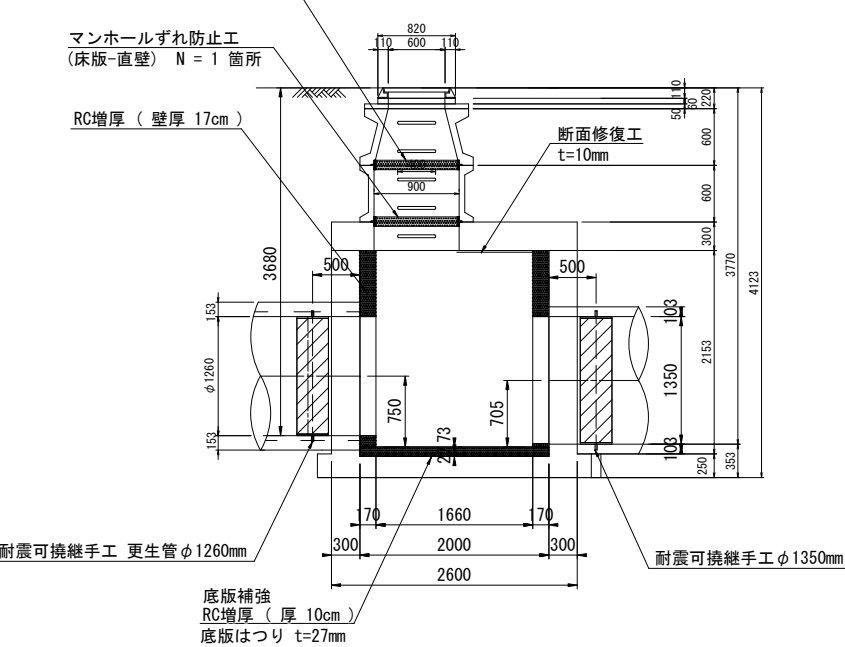
工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 名	J119134057 特殊マンホールはつり・断面修復工図		
図 面 枚 数	23 / 32	縮 尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134057 特殊マンホール耐震補強構造図 S=1:40

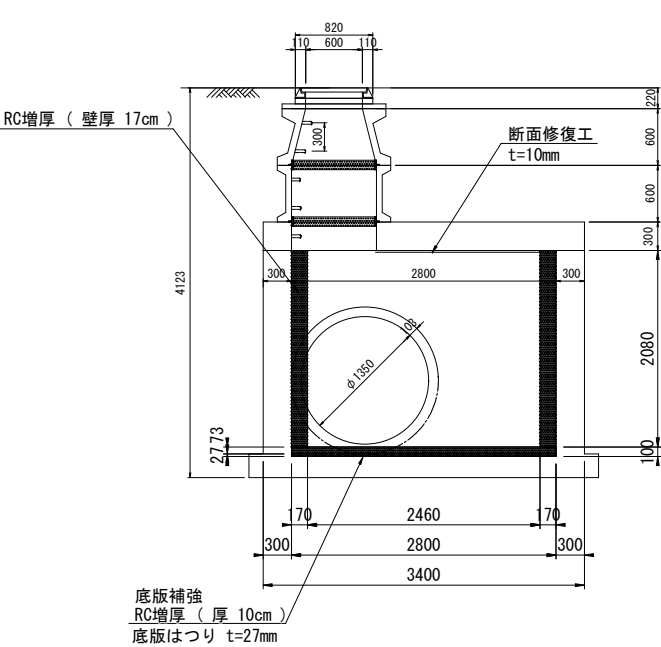
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図

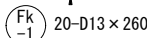
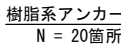


工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134057 特殊マンホール耐震補強構造図		
図 面 枚 数	24 / 32	縮 尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			



S=1 : 30

底版



底版 鉄筋数量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1 本当り 重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
F-1	D16	1960	12	1.56	3.06	36.7	
F-2	D16	2760	8	1.56	4.31	34.5	
Fk-1	D13	260	20	0.995	0.26	5.2	
		SD345	D16				71.2 kg
		SD345	D13				5.2 kg

## あと施工アンカー標準図



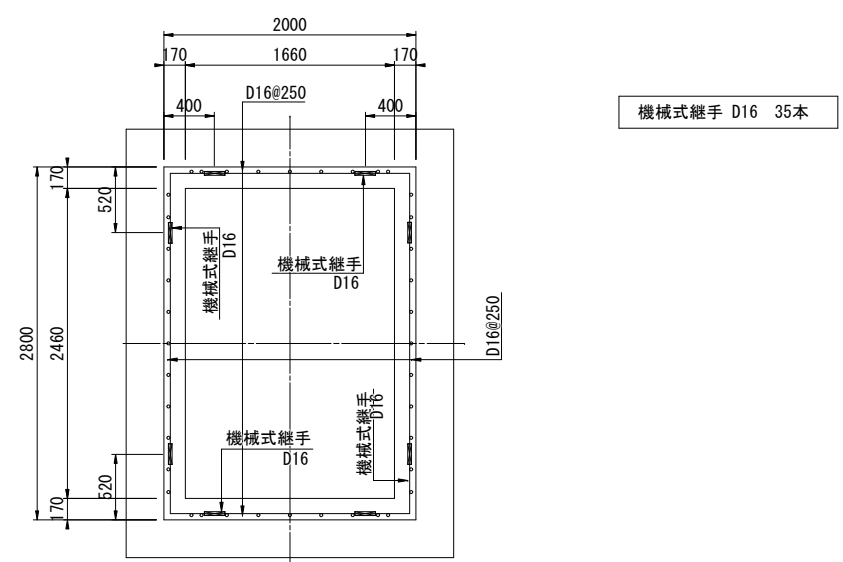
特記

1. あと施工アンカーは、接着系アンカーとする。
2. 接着剤は、樹脂カプセル型の有機系のもとし基本接着強度10N/mm2とする。
3. ハツリ又は洗浄後の躯体には、目荒しを施す事とする。
4. アンカーの埋込穴の直径は、各メーカーのアンカー規格に合った適正なドリルビット径とし、穴の周辺コンクリートに損傷を与えない物でなければならない。
5. アンカー孔内の切粉やゴミを、占用ブラシ・ブロアーを使用して念入りに清掃すること。
6. 穴あけに失敗した場合は、2.5d以上離して再度穴あけを行う。失敗アンカー孔はモルタルにて補修すること。

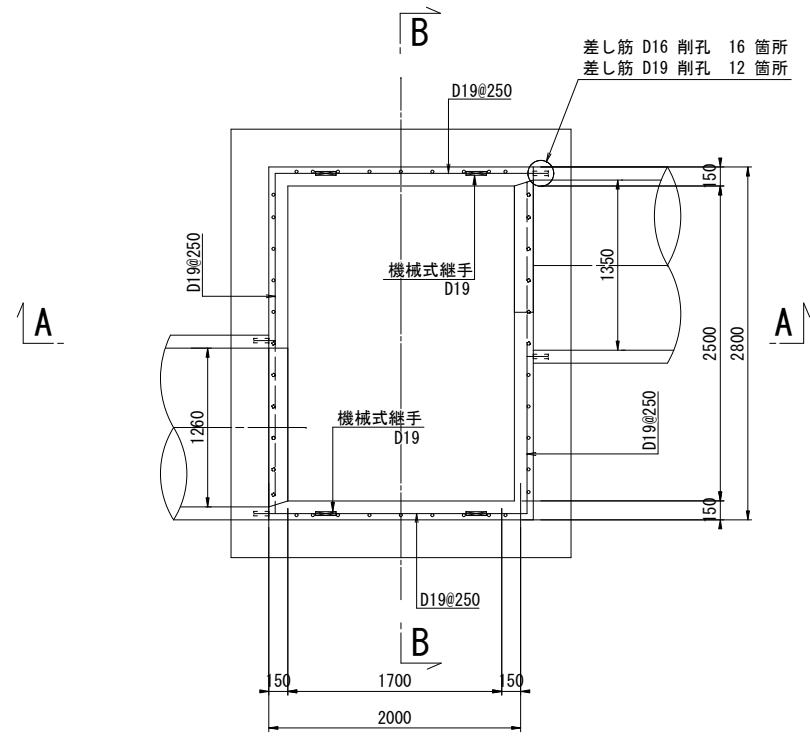
工 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 名	J119134057 特殊マンホール配筋図(1)		
図 枚	25 / 32	縮尺	S=1:30

甲府市上下水道局

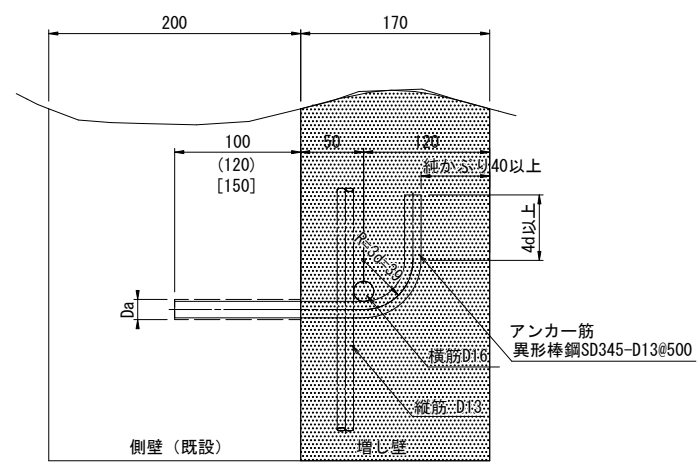
側壁標準配筋図  
(C-C)



D-D 断面図

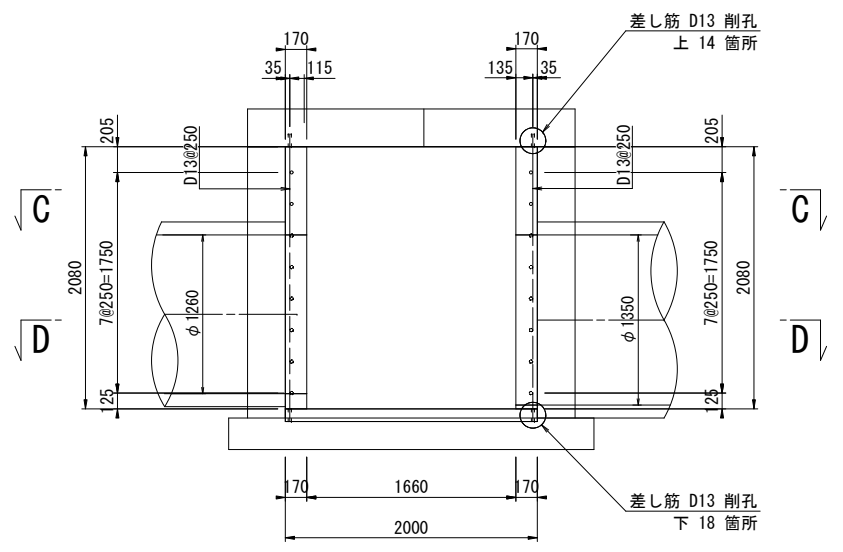


あと施工アンカー標準図

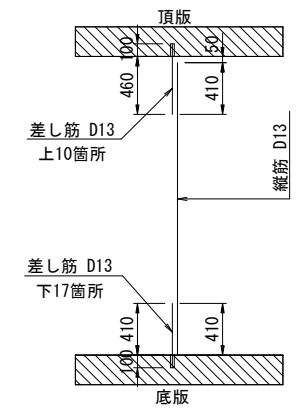
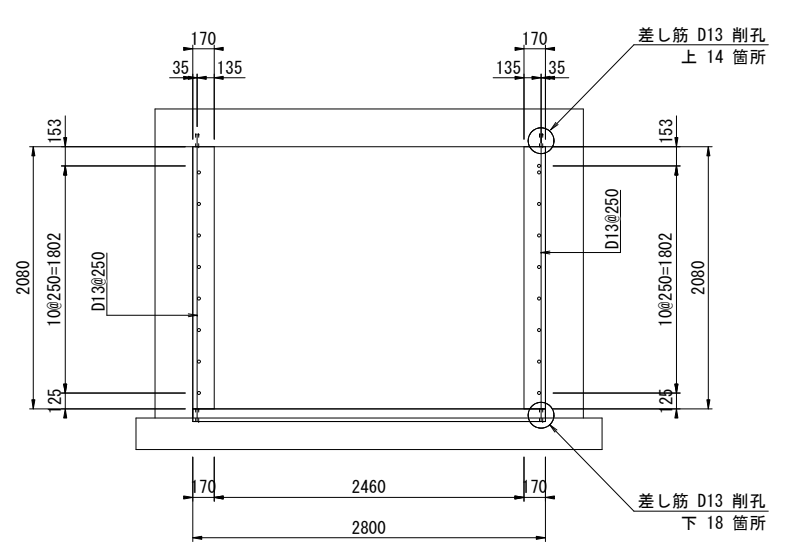


特記：頂版及び底版に施工するアンカーを参照  
( ) 内は D16mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。  
[ ] 内は D19mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。

A-A 断面図



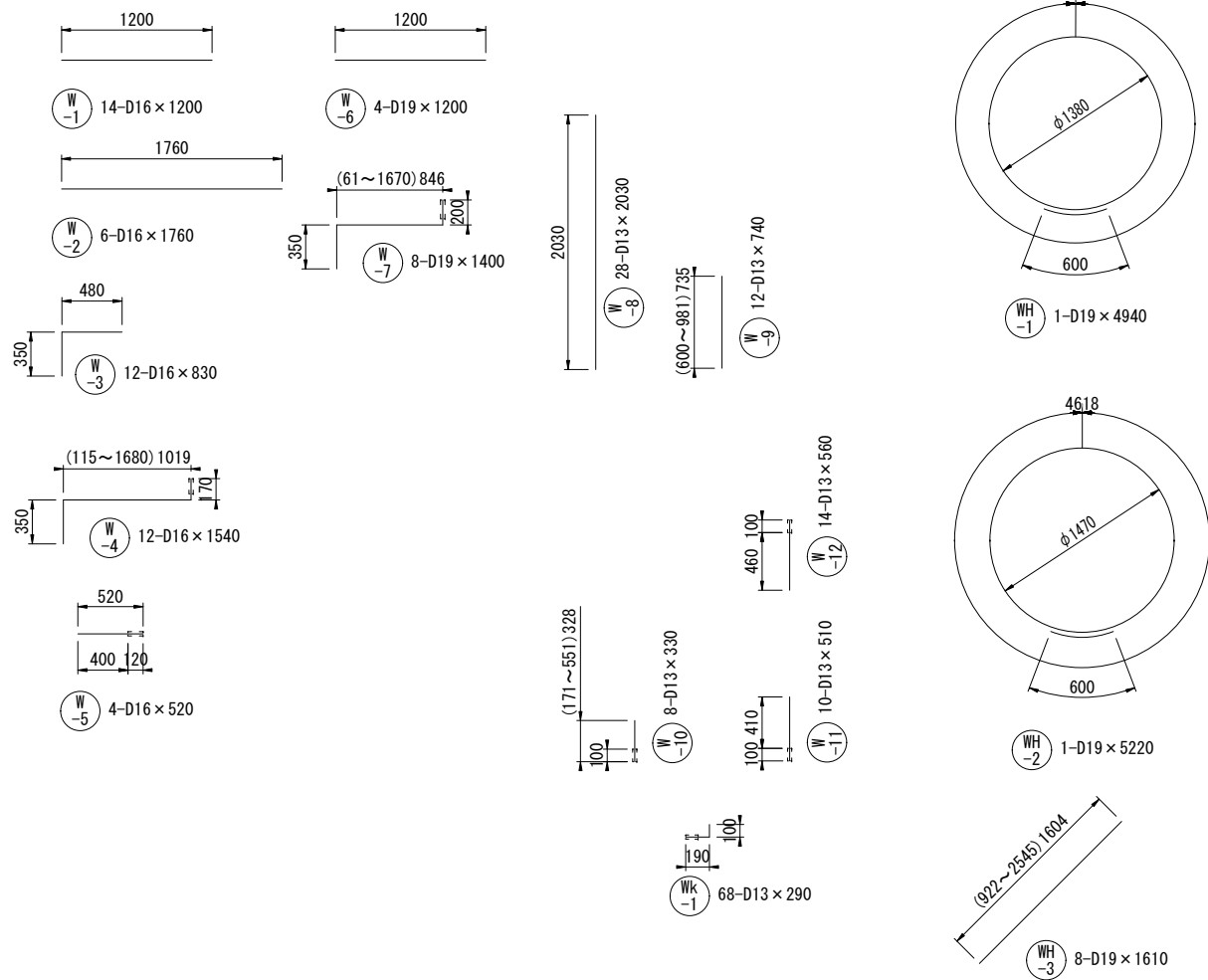
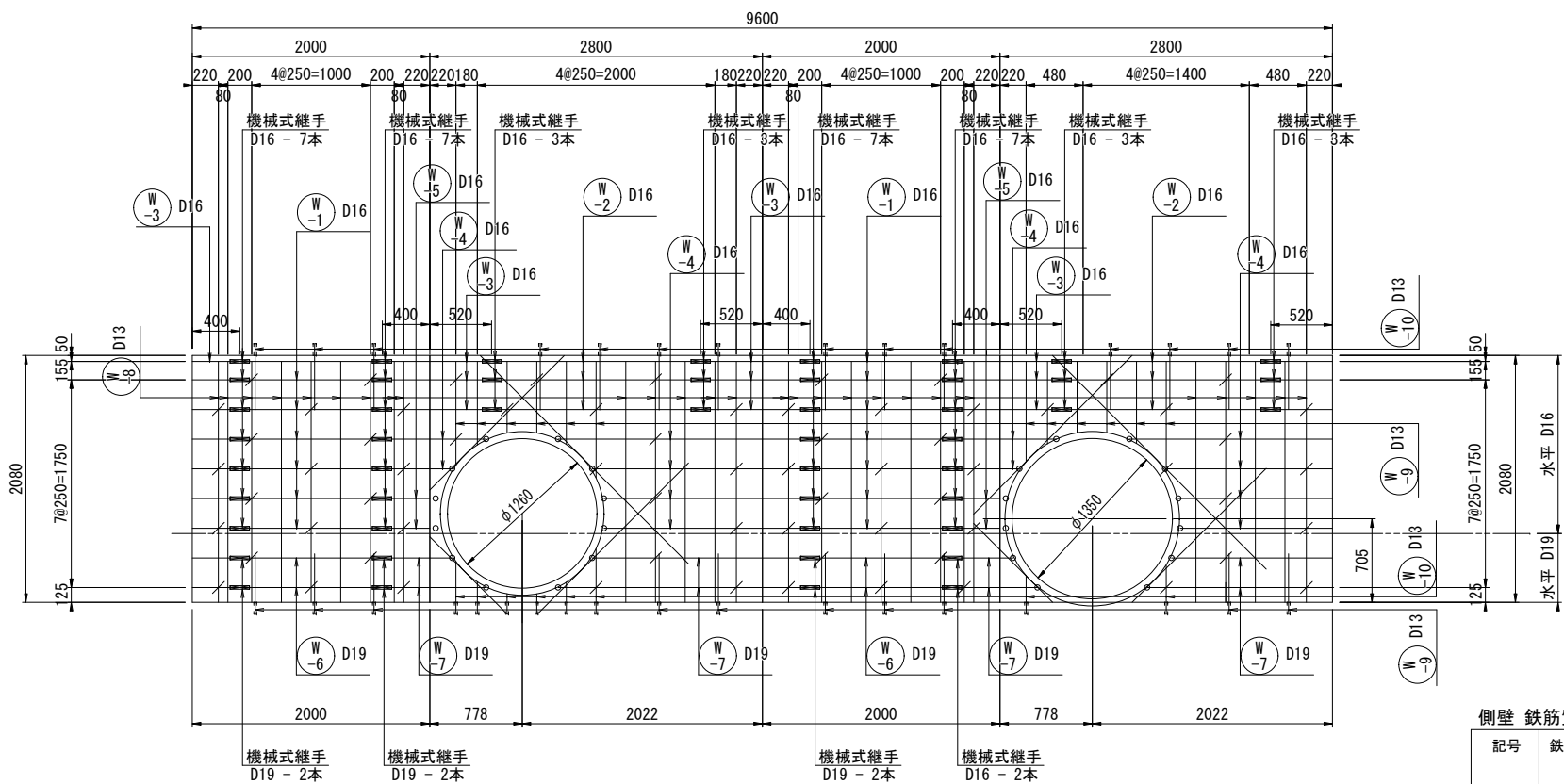
B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134057 特殊マンホール配筋図（2）		
図 面 枚 数	26 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J119134057 特殊マンホール配筋図（3） S=1:30

側壁展開図



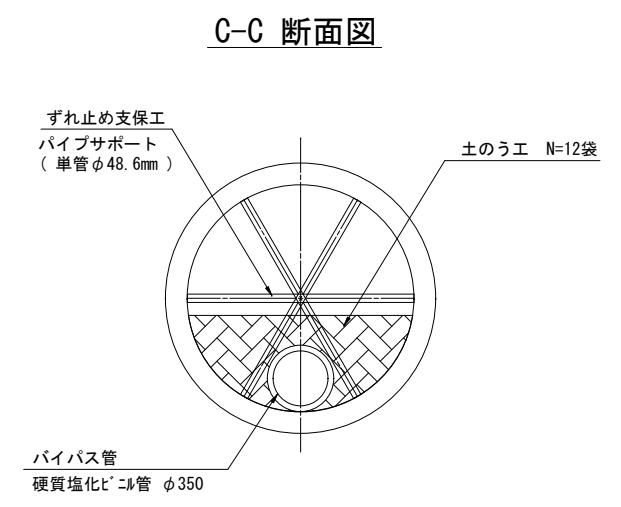
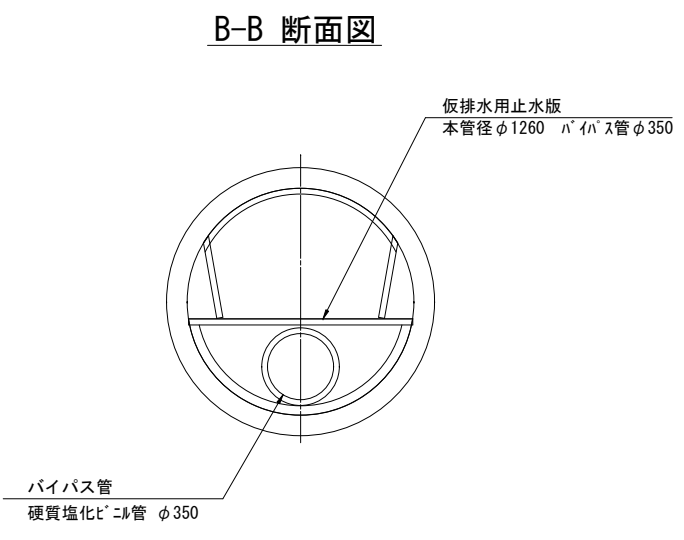
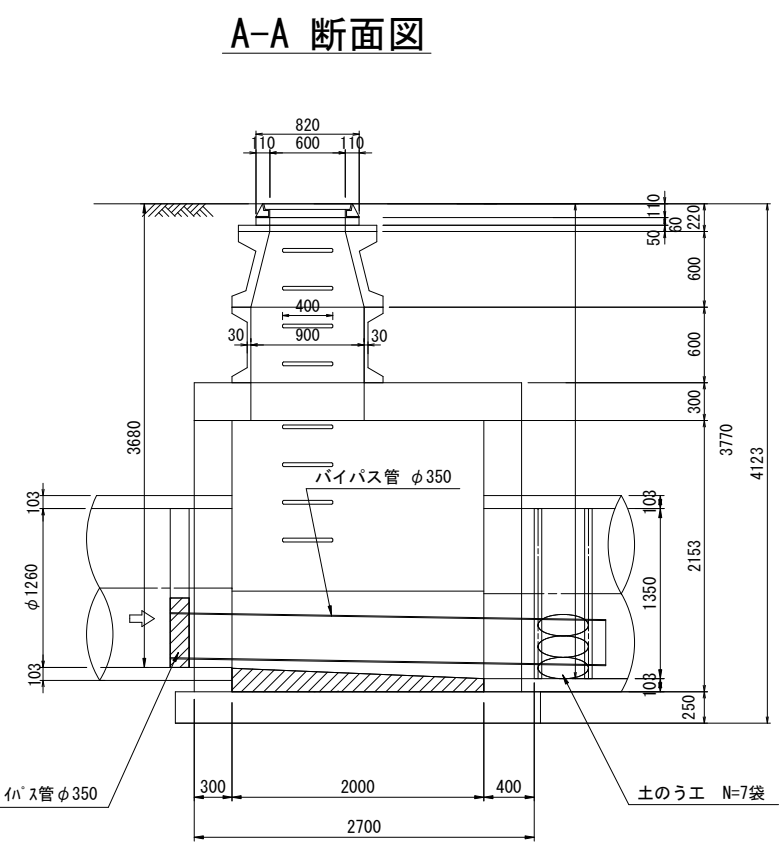
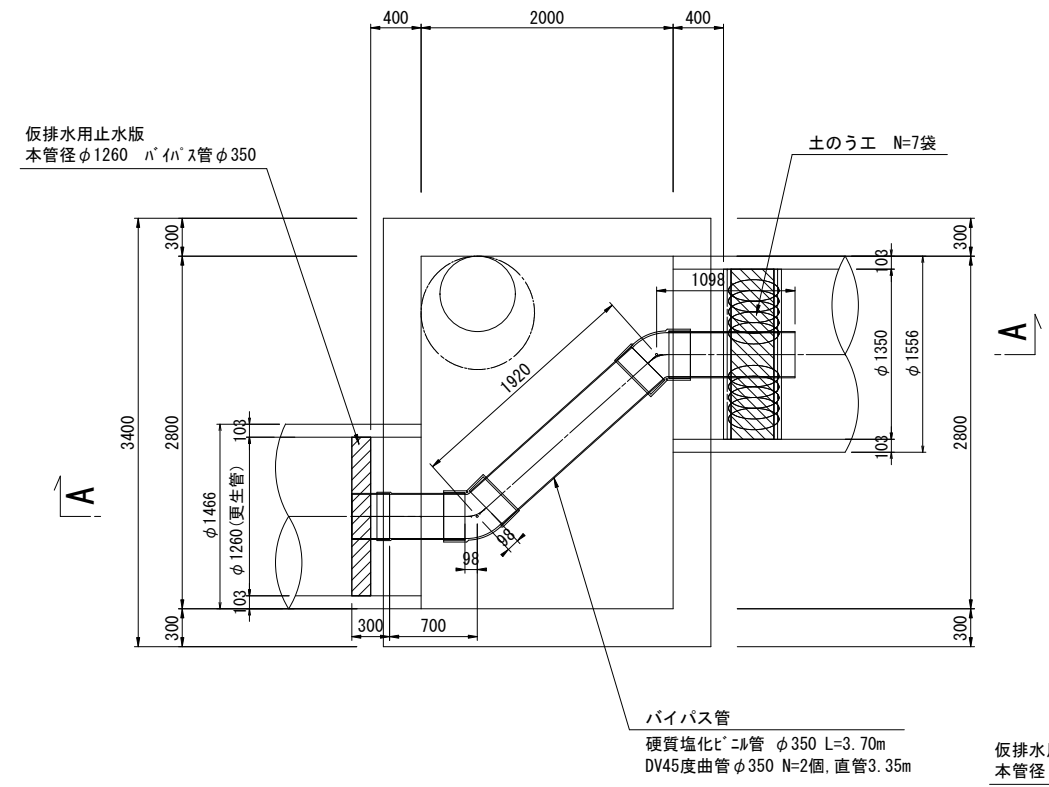
側壁 鉄筋質量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	D13 (kg)	D16 (kg)	D19 (kg)	摘要
W -1	D16	1200	14	1.56	1.87	26.2		26.2		
W -2	D16	1760	6	1.56	2.75	16.5		16.5		
W -3	D16	830	12	1.56	1.29	15.5		15.5		
W -4	D16	1540	12	1.56	2.40	28.8		28.8		
W -5	D16	520	4	1.56	0.81	3.2		3.2		
W -6	D19	1200	4	2.25	2.70	10.8			10.8	
W -7	D19	1400	8	2.25	3.15	25.2			25.2	
W -8	D13	2030	28	0.995	2.02	56.6			56.6	
W -9	D13	740	12	0.995	0.74	8.9			8.9	
W -10	D13	330	8	0.995	0.33	2.6	2.6			
W -11	D13	510	10	0.995	0.51	5.1	5.1			
W -12	D13	560	14	0.995	0.56	7.8	7.8			
Wk-1	D13	290	68	0.995	0.29	19.7	19.7			
WH-1	D19	4940	1	2.25	11.12	11.1			11.1	
WH-2	D19	5220	1	2.25	11.75	11.8			11.8	
WH-3	D19	1610	8	2.25	3.62	29.0		29.0		
計						278.8	35.2	119.2	124.4	
SD345 D19						124.4 kg				
SD345 D16						119.2 kg				
SD345 D13						35.2 kg				
機械式継手 D16						52 本				
機械式継手 D19						16 本				

削孔数量

削 孔	数 量	備 考
D13用（上向）	14 箇所	W12の本数に同じ
D13用（横向）	68 箇所	Wk1の本数に同じ
D13用（下向）	18 箇所	W10+W11の本数に同じ
D16用（横向）	16 箇所	W4+W5の本数に同じ
D19用（横向）	12 箇所	W3+W4-1+W4-2の本数に同じ

工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4) (余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134057 特殊マンホール配筋図（3）		
図 面 枚 数	27 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			



工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4) (余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 名 称	J119134057 特殊マンホール仮排水仮設図		
図 面 数	28 / 32	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

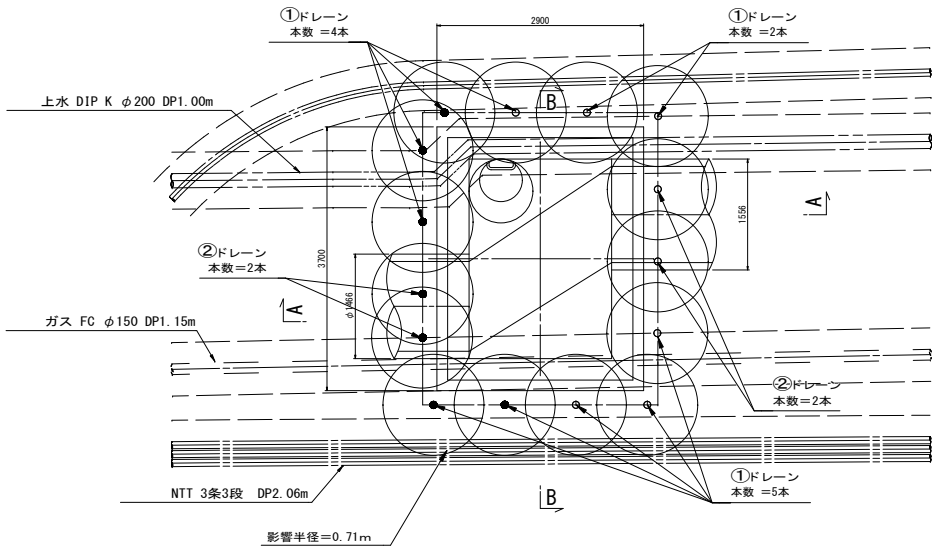
J119134057 特殊マンホール浮上対策工図 S=1:50

ドレーン土被り 1.13m  
ドレーン影響半径 0.71m  
本数算定用間隔 1.00m  
必要ドレーン本数 14本  
設置本数 14本  
打設可 0本  
安全率( R) 1.12  
底板影響半径 0.69m  
底板影響範囲 3.475㎡

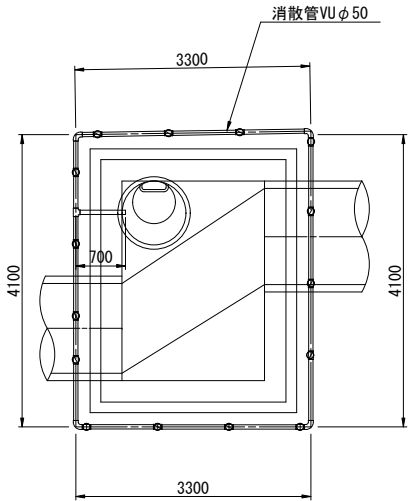
ドレーン深度	本数	ドレーン長さ
○ 打設不可		0.00m
○ ④		
○ ③		
○ ② 1.81m	4本	0.68m
○ ① 3.97m	11本	2.84m

消散管 VUφ50 L=3.30+4.10+3.30+4.10+0.70+0.20×15 = 18.50m  
DX90° エルボφ50 N= 4 個  
DX90° Y φ50 N= 15 個  
コンクリート 肖径Lφ80mm L=0.06m

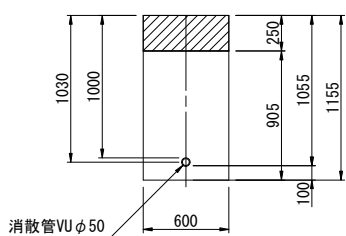
平面図



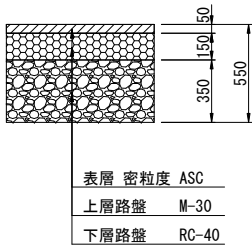
消散管 平面図



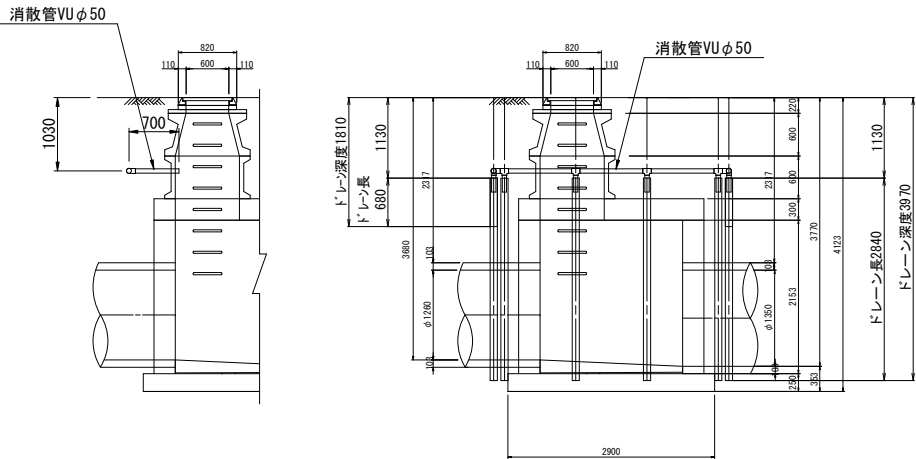
消散管 掘削断面図 S=1:25



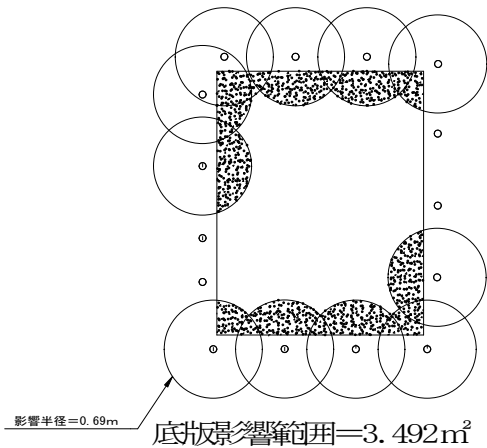
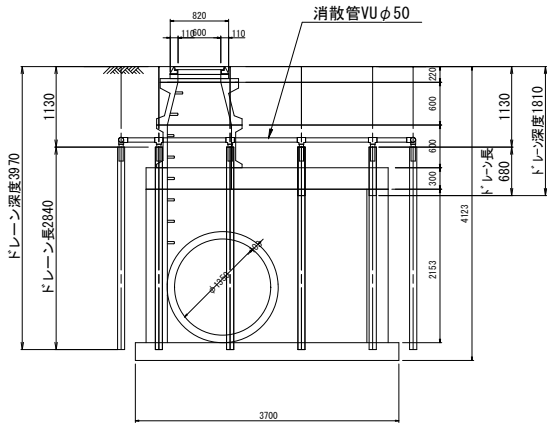
舗装構成 S=1:20  
[ A型構造 ]



A-A 断面図



B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	J119134057 特殊マンホール浮上対策工図		
図 面 枚 数	29 / 32	縮 尺	1:50
甲 府 市 上 下 水 道 局			

# 位置図 S=1:2,500

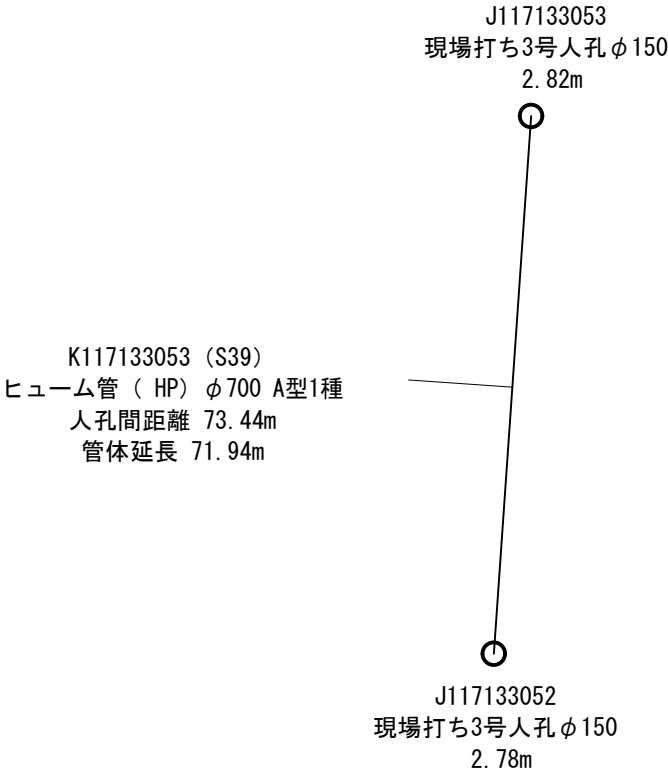
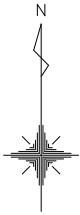


工事名称	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工事箇所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図面名称	管渠更生管位置図(枝線000641)		
図面枚数	30 / 32	縮尺	S=1:2,500
甲府市上下水道局			

管渠更生管平面図

S=1：500

(枝線000641)



【管渠】	取 付 管	
	(左)	(右)
施設番号	取付管：距離	取付管：距離
K117133053 φ700mm A型 1種	φ150：2.44	φ150：4.88
	φ150：3.63	φ150：13.20
	φ150：18.73	φ150：31.04
	φ150：37.18	φ150：42.73
	φ150：38.47	φ150：53.46
	φ150：53.34	φ150：71.17
	φ150：61.12	
	φ150：70.38	
	(左) 8箇所	(右) 6箇所
	全 14 箇所	

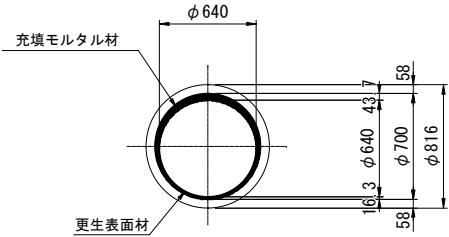
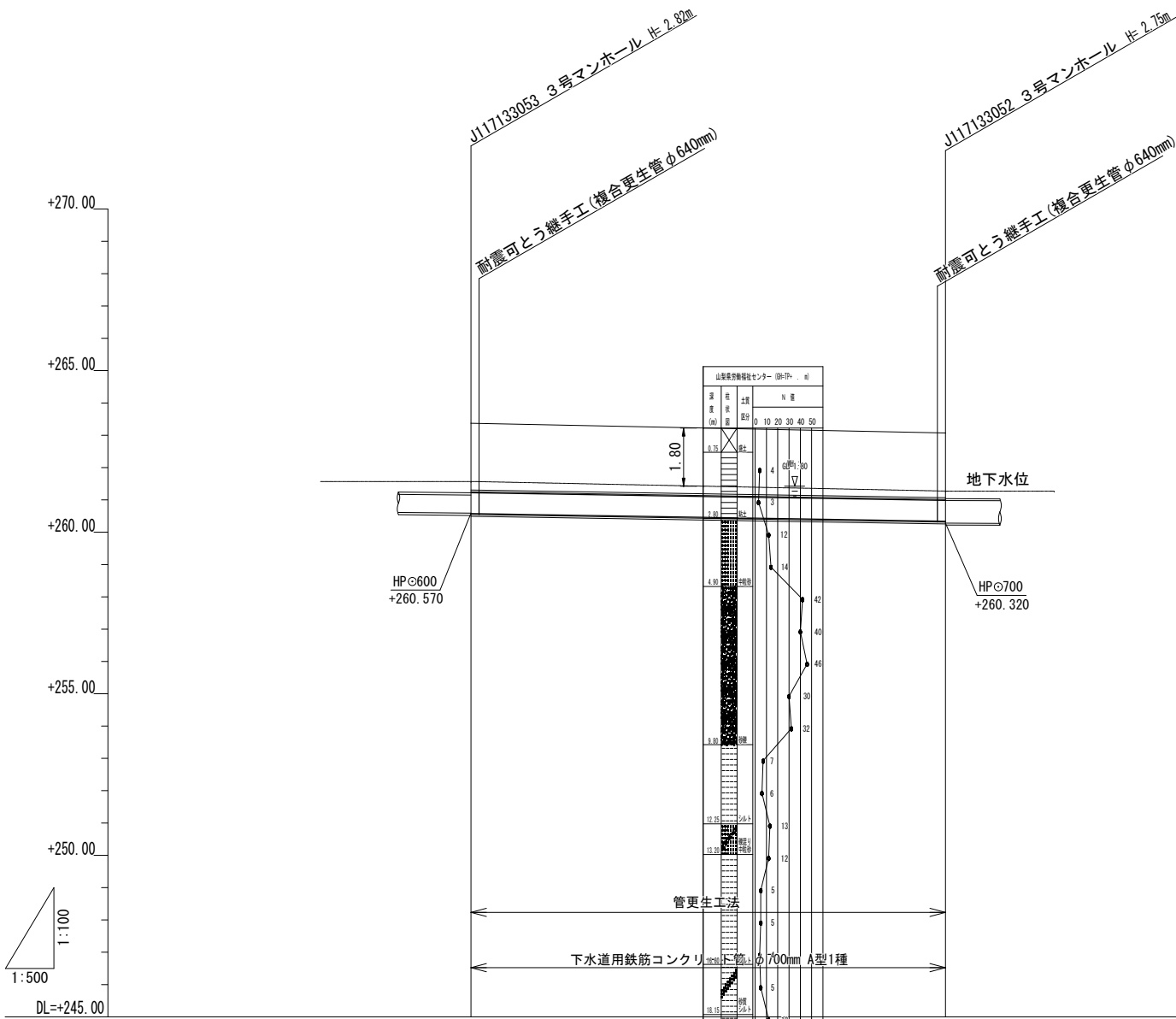
流水方向 上流[J117133053] → 下流[J117133052]

表中の取付管距離は 上流[J117133053]からの距離

工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 箇 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名 称	管渠更生管平面図(枝線000641)		
図 面 枚 数	31 / 32	縮 尺	1：500
甲 府 市 上 下 水 道 局			

縦断図

V=1:100  
H=1:500



【人孔】

施設番号	設置年度	人孔型式	合流・分流	現打・組立	人孔深	幅(内寸)	長さ(内寸)
J117133053	昭和39年度	3号人孔φ150	合流	現場打ち	2.86m	1500mm	1500mm
J117133052	昭和39年度	3号人孔φ150	合流	現場打ち	2.75m	1500mm	1500mm

【管渠】

施設番号	布設年度	管種	合流・分流	管径	工法	人孔間距離	管体延長
K117133053	昭和39年度	ヒューム管(HP)	合流	φ700mm	開削	73.44 m	71.94m

改築番号		K117133053	
区間距離		73.44	
管 径		HPφ700	
勾 配		3.10‰	
地 盤 高	263.37		263.07
土 被 り	2.06		1.99
管底管底高	260.550		260.330
現況管底高	260.550		260.320
単 距 離	0.00		73.44
追加距離	0.00		73.44
測 点	J117133053		J117133052

工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-4)(余フ)		
工 事 所	甲府市中央三丁目地内ほか		
図 面 名	管渠更生管縦断面図(枝線000641)		
図 面 枚 数	32 / 32	縮 尺	V=1:100 H=1:500
甲 府 市 上 下 水 道 局			